Victor

先進の個性

タイマー録画
再生のしかた
テレビ番組の録画

HR-D180

ビクタービデオカセッター

取扱説明書

ビデオはビクター VHS

HQ High Quality

VHS 4HEAD

● ご使用前にこの"**取扱説明書**"をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

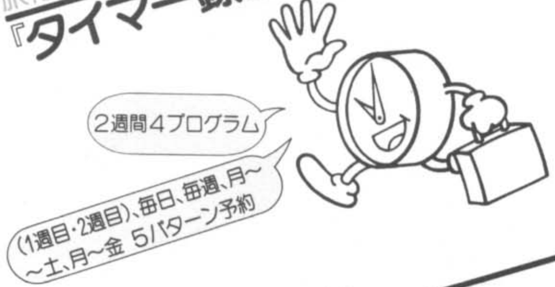
● 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかについてお確かめください。

このたびはビクタービデオカセッター HR-D180をお買いあげいただきありがとうございます。

主な特長

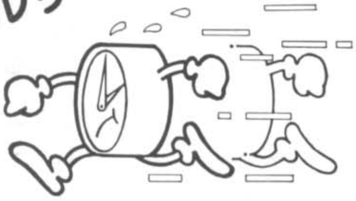
VHSビデオの互換性をそのままに
一段と鮮やかな画像を楽しめる
「HQ技術」

旅行中見逃したくない番組がある
『タイマー録画』(11〜12ページ)



カセットを入れると電源がはいる
『オートパワーオン』(5ページ)

画面の飛ばし見がしたい
『シャトルサーチ再生』(10ページ)

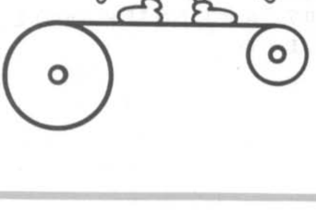


テレビを見ていたら、急な来客が
『ワンタッチタイマー録画』(13〜14ページ)

あの一瞬をストップモーション
『簡易静止画再生』(10ページ)

いくつかの番組を1本のテープに録画
したが、途中の番組を見たい
『カウンターメモリー』(17ページ)

テープの残り録画時間が知りたい
『ラップ表示』(17ページ)



もくじ

基本的操作

- 各部の名称（前面）……1～2
- 各部の名称（背面）……3
- ディスプレイについて……4
- カセットの入れかた/出しかた……5
- 巻戻し/早送りのしかた……6
- テレビ番組の録画……7～8
- 再生のしかた……9

応用操作

- いろいろな再生のしかた……10
- タイマー録画のしかた……11～12
- ワンタッチタイマー録画……13～14
- タイマー録画時のご注意……15
- ワイヤレスリモコン（付属）について……16
- 便利な使いかた……17～18
  （カウンターメモリー/ラップ表示/オートリワインド/プレイメモリー）
- カメラ録画……19～20

準備

- 時計の合わせかた（現在時刻を合わせる）……21～22
- チャンネル選局のしかた……23～25
- 受信チャンネル（番号/表示）変更について……26～28
- 接続のしかた……29～30

その他

- 使用上のご注意……31～32
- こんなときは……33～34
- 保証とアフターサービス……35
- 関連機器……36

VHS 本機**HR-D180**は、VHS方式のビデオです。
このマークのついたビデオカセット以外は使用できません。

ビデオカセットの種類

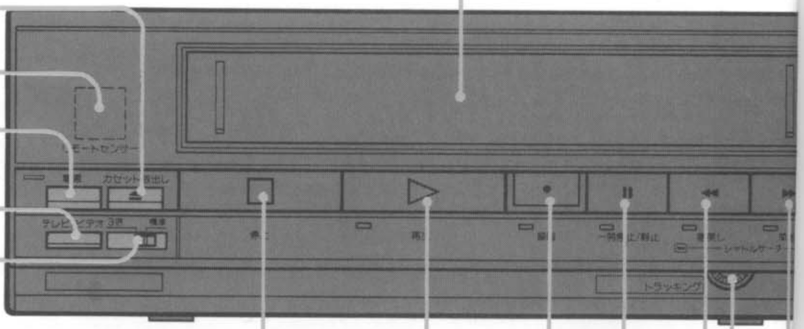
カセット	最長記録時間	
	標準モード	3倍モード
T-160	2時間40分	8時間
T-140	2時間20分	7時間
T-120	2時間	6時間
T-100	1時間40分	5時間
T-90	1時間30分	4時間30分
T-80	1時間20分	4時間
T-60	1時間	3時間
T-40	40分	2時間
T-30	30分	1時間30分
T-20	20分	1時間

HQ マークのついたビデオには、VHS高画質技術が採用されています。なお、従来方式のVHSビデオとは互換性があります。

- 本機の3倍モードで録画したビデオカセットは、標準モード専用のVHSビデオでは再生できませんので、ご注意ください。
- 万一本機およびビデオカメラ、ビデオカセットテープ等の不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- 大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画（録音）されていることを確かめてください。
- あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

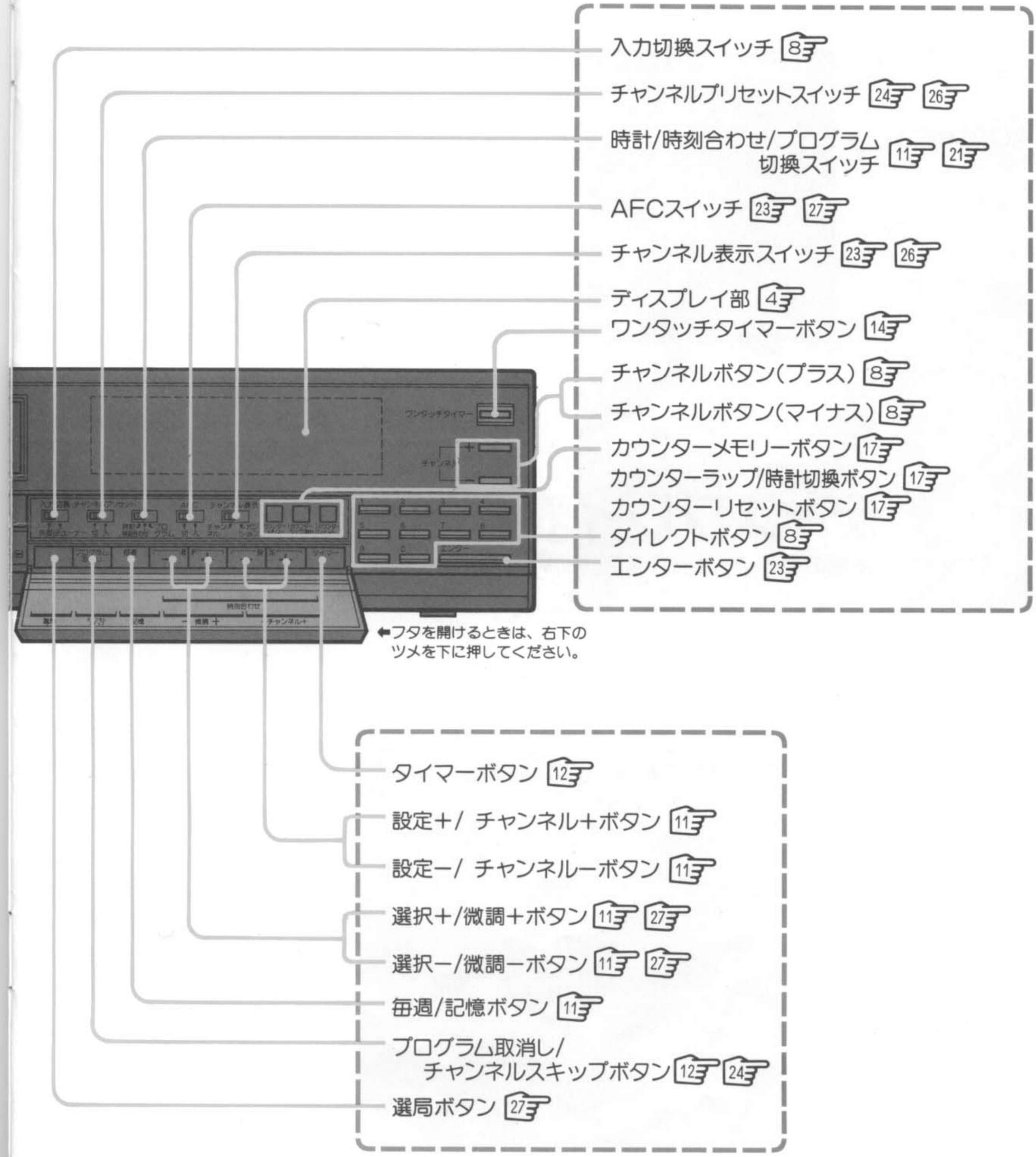
各部の名称（前面）

☞ 内は参照ページ数です。

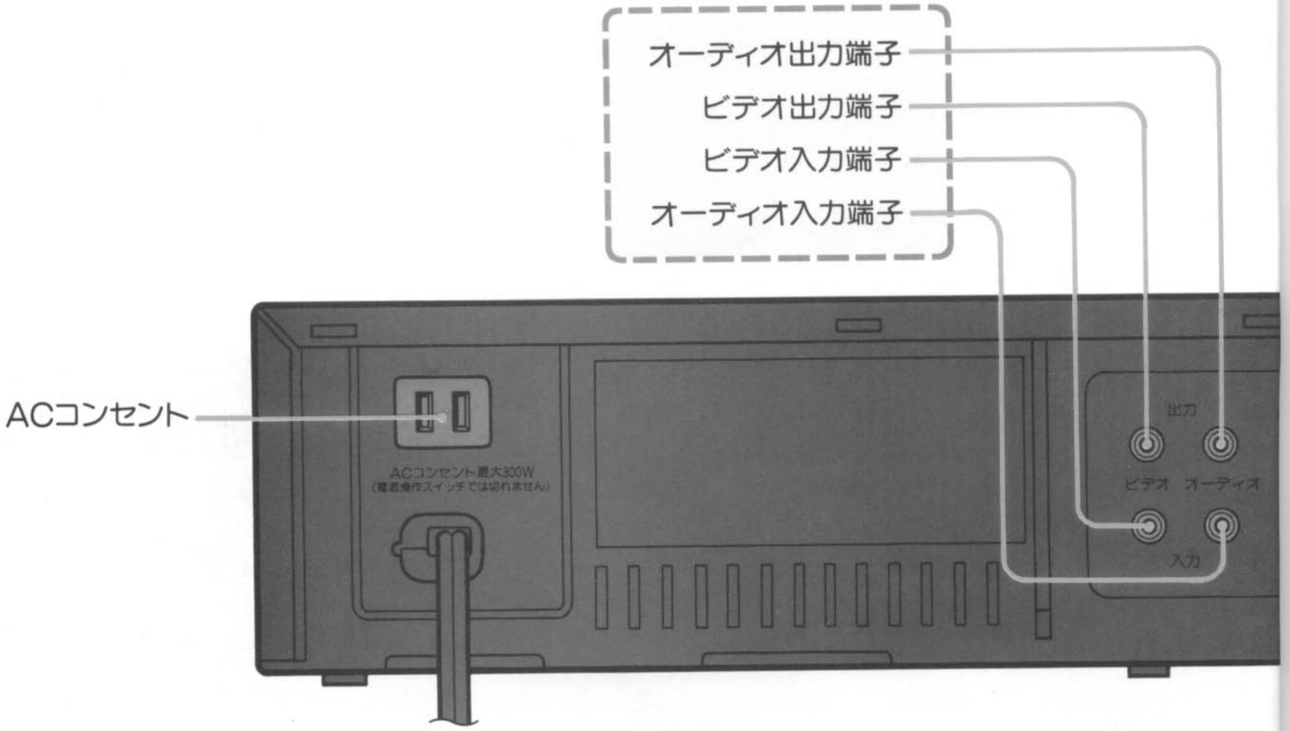


- ☞5 カセット挿入口
- ☞5 カセット取出しボタン
- ☞16 ワイヤレスリモコン受信部
- 電源ボタン
- ☞7 テレビ/ビデオボタン
- ☞7 録画時間切換スイッチ

- ☞7 停止ボタン
- ☞9 再生ボタン
- ☞8 録画ボタン
- ☞10 一時停止/静止ボタン
- ☞10 巻戻し/巻戻し再生ボタン(シャトルサーチ)
- ☞9 トラッキングつまみ
- ☞10 早送り/早送り再生ボタン(シャトルサーチ)

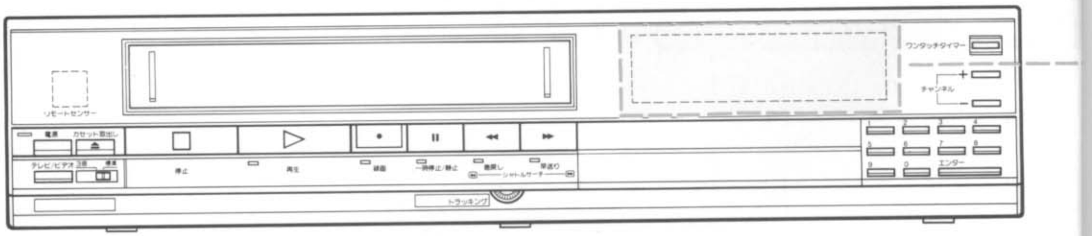

入力切換スイッチ 8
チャンネルプリセットスイッチ 24 26
時計/時刻合わせ/プログラム切換スイッチ 11 21
AFCスイッチ 23 27
チャンネル表示スイッチ 23 26
ディスプレイ部 4
ワンタッチタイマーボタン 14
チャンネルボタン(プラス) 8
チャンネルボタン(マイナス) 8
カウンターメモリーボタン 17
カウンターラップ/時計切換ボタン 17
カウンターリセットボタン 17
ダイレクトボタン 8
エンターボタン 23
←フタを開けるときは、右下のツメを下に押してください。
タイマーボタン 12
設定＋/ チャンネル＋ボタン 11
設定－/ チャンネル－ボタン 11
選択＋/微調＋ボタン 11 27
選択－/微調－ボタン 11 27
毎週/記憶ボタン 11
プログラム取消し/チャンネルスキップボタン 12 24
選局ボタン 27

各部の名称〔背面〕



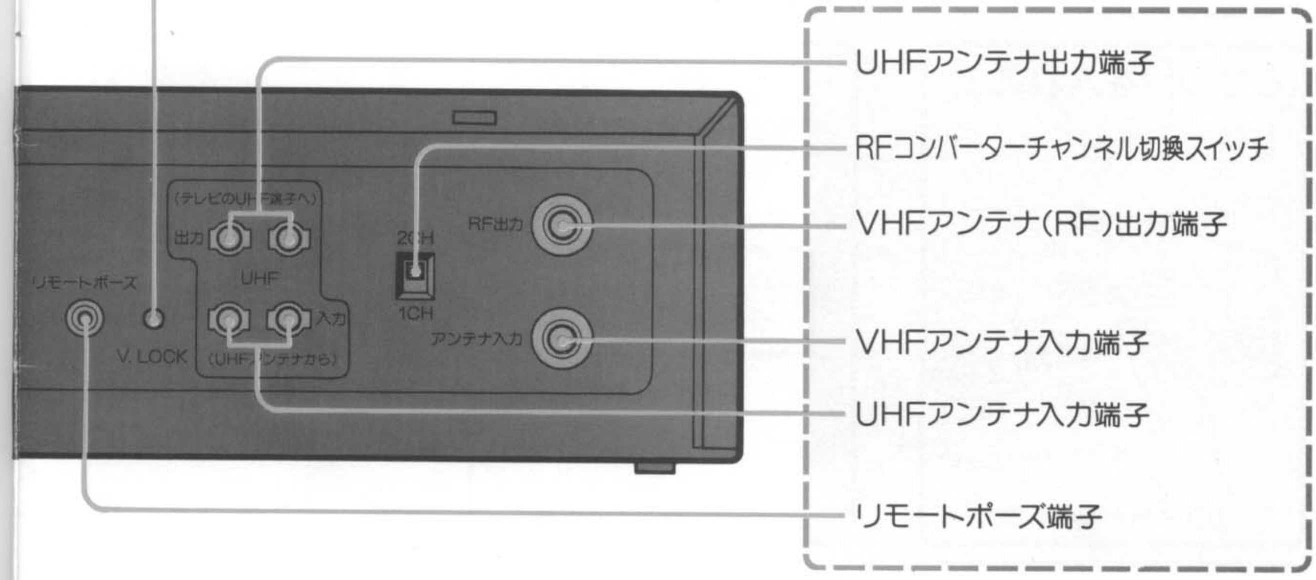
ディスプレイ表示について

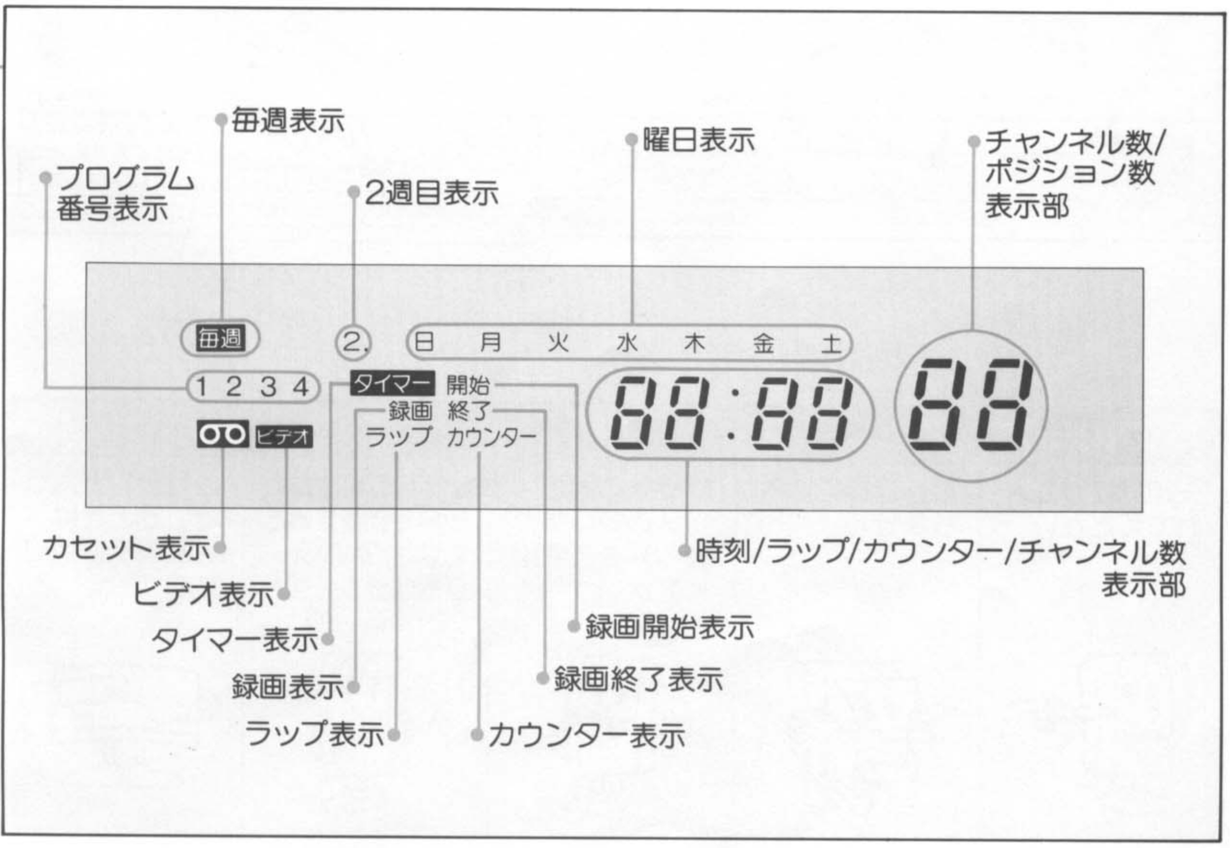
《本機のタイマーは24時間デジタル表示式です。》



V. LOCK(ロック)調整穴

簡易静止画再生時、画面が上下にブレる時に
細いドライバーなどで調整するための穴です。



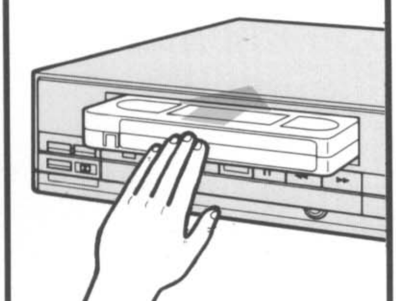


カセットの入れかた/出しかた

- 本機は、電源が「切」の状態でもカセットの出し入れができます。
- カセットを入れると、自動的に電源が入ります。
- タイマー予約中はカセットの出し入れはできません。タイマーボタンを「切」にしてから出し入れしてください。

カセットの入れかた

カセットを入れる



表示が点灯します

オートプレイについて

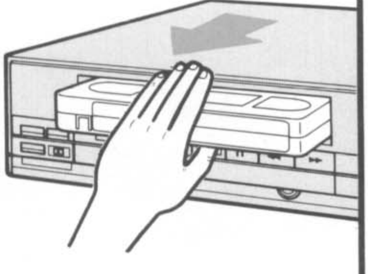
- 「ツメの折られているカセット」では自動的に再生を始めます。

カセットの出しかた

1 カセット取出しボタンを押す

カセットが出てきます

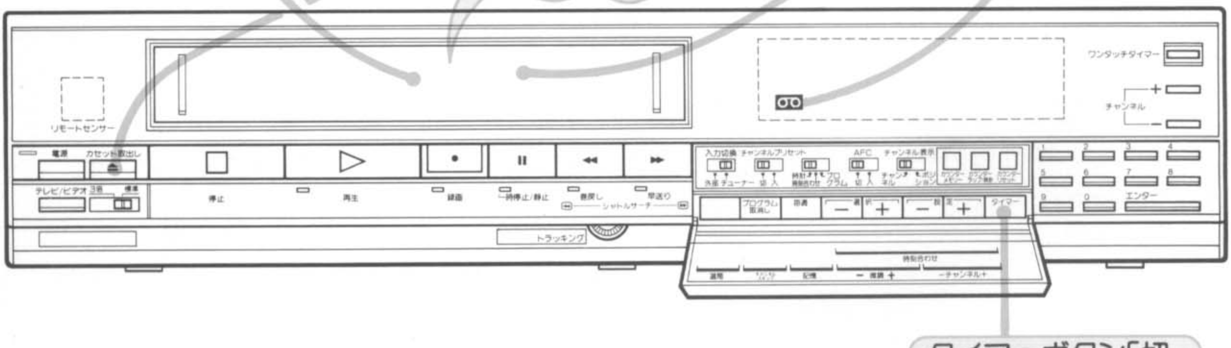
2 カセットを取りだす



表示が消えます

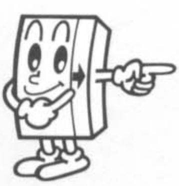
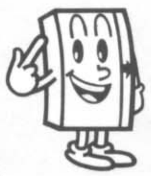
手や異物を入れないで!

表示



タイマーボタン「切」

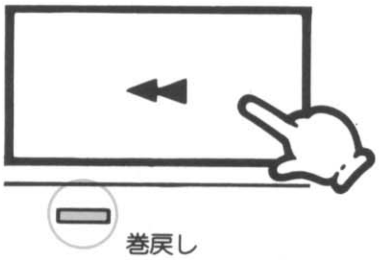
カセットについて

矢印に従って入れてください	うら返しでは入りません	録画するときはツメのついたカセットをご使用ください	ツメのとれたカセットで録画するときはセロハンテープをはってください	カセットが入っているときは表示が点灯します
				

巻戻し/早送りのしかた

巻戻しのしかた

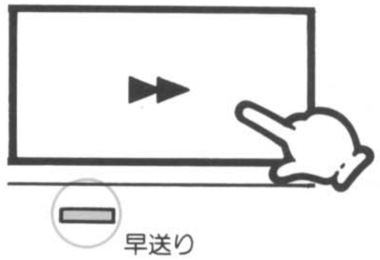
巻戻しボタンを押す



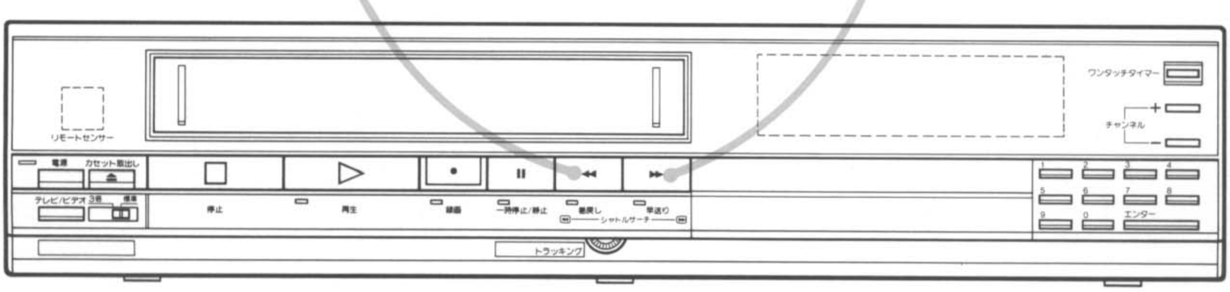
巻戻しランプが点灯します

早送りのしかた

早送りボタンを押す



早送りランプが点灯します

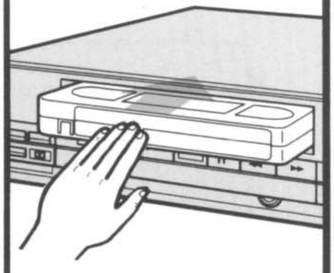


再生中に巻戻し、早送りボタンを押すとシャトルサーチ再生になります。テープを巻戻し、早送りするときは停止ボタンを押してから、おこなってください。

テレビ番組の録画

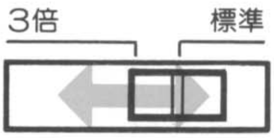
1 テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)または(2)にする

2 カセットを入れる



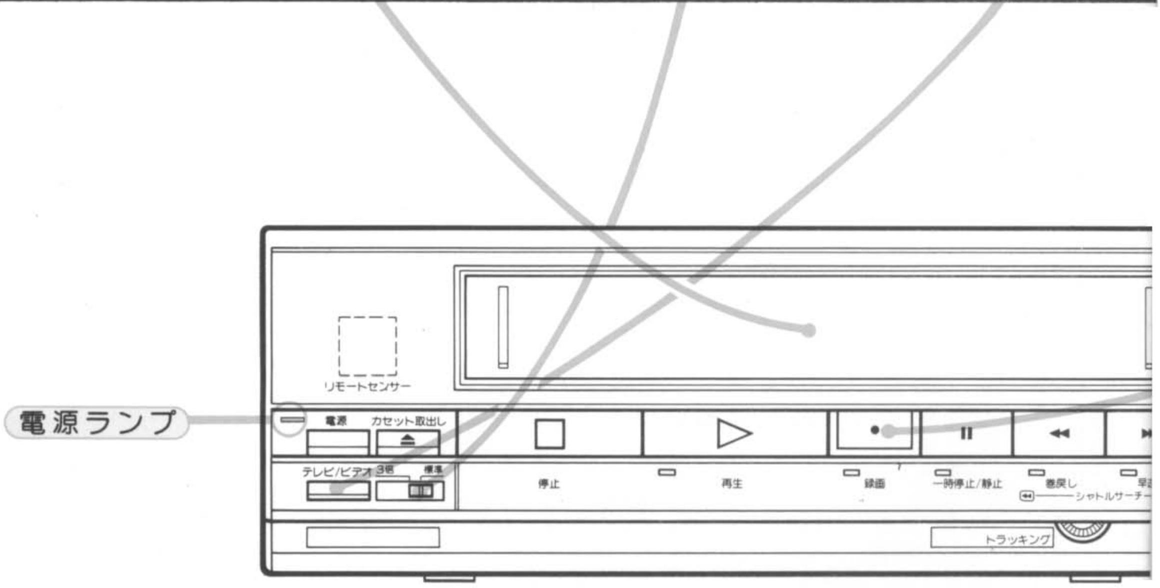
電源ランプ、表示が点灯します

3 録画時間切換を「標準」または「3倍」にする



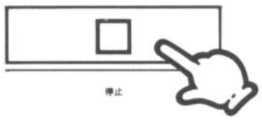
4 テレビ／ビデオボタンを押す

ビデオ 表示が点灯します



録画をやめるときは

停止ボタンを押す



一時停止のしかた

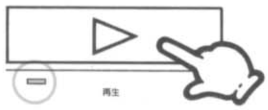
コマーシャルなどをカットしたいときは

一時停止／静止ボタンを押す

一時停止が約5分以上続くとテープやビデオヘッド保護のため、自動的に停止状態になります

ふたたび録画をするときは

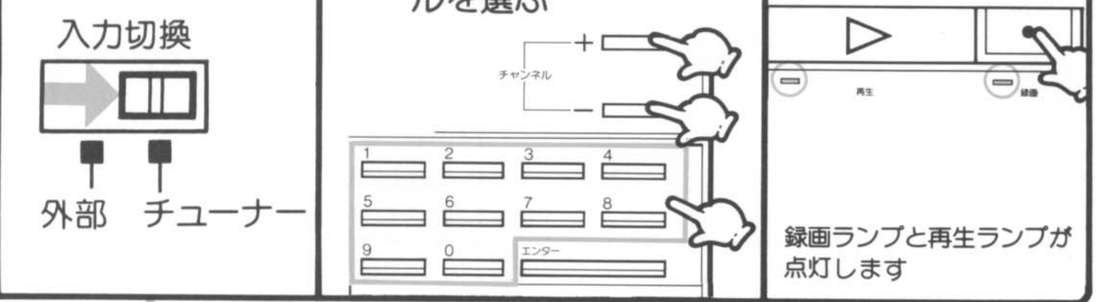
再生ボタンを押す



5 入力切換スイッチを「チューナー」にする

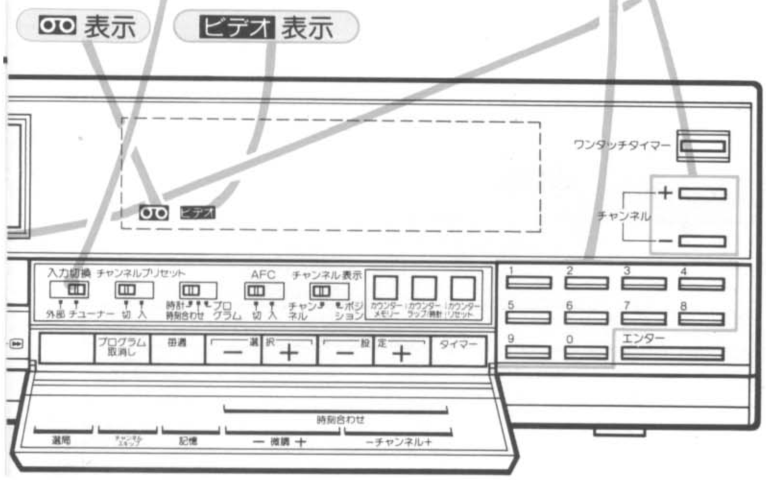
6 チャンネルボタン(プラス/マイナス)またはダイレクトボタンで録画したいテレビチャンネルを選ぶ

7 録画ボタンを押す



録画ランプと再生ランプが点灯します

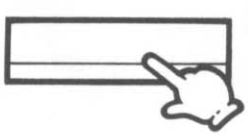
録画中にチャンネルを変える場合は一度一時停止／静止ボタンを押してチャンネルを変えます。次に再生ボタンを押せば録画が始まります。



ウラ番組録画をするときは

録画中に

テレビ／ビデオボタンを押して ビデオ 表示を消す

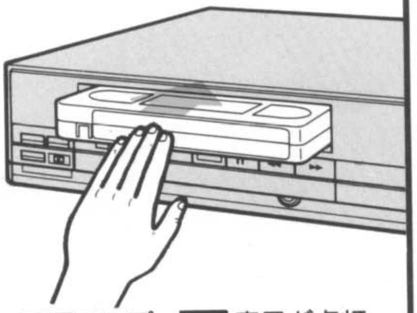


テレビのチャンネルを見たい番組に合わせる

再生のしかた

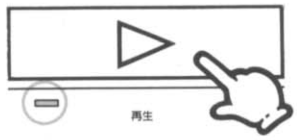
1 テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)または(2)にする

2 録画ずみカセットを入れる

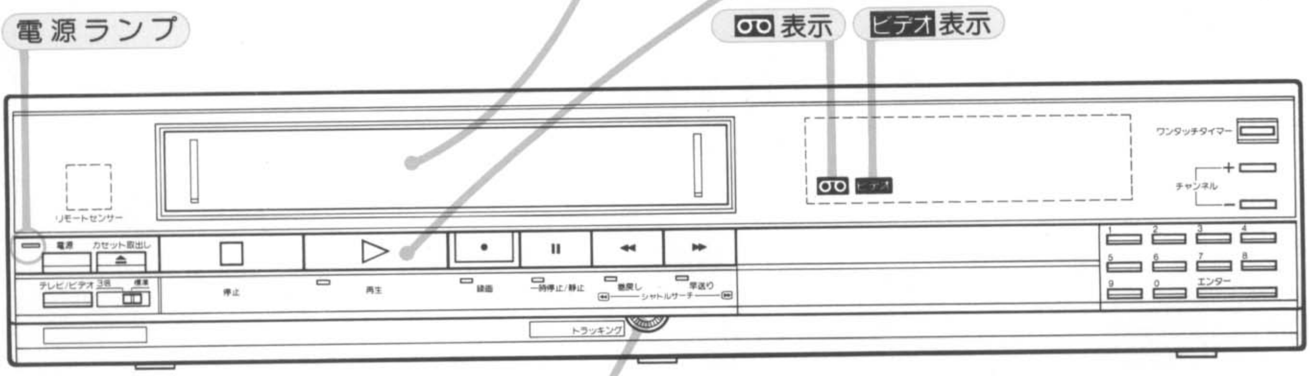


電源ランプ、〇〇表示が点灯します

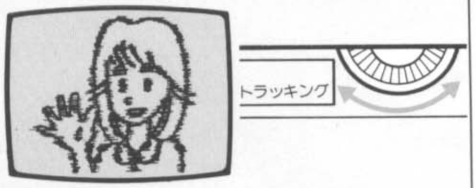
3 再生ボタンを押す



ビデオ表示が点灯し、再生が始まります



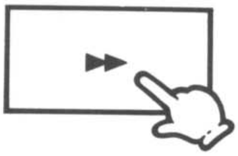
再生画像にノイズ(乱れ)があるときは



トラッキング調整つまみを左右にゆっくりまわし、ノイズがなくなるように調整します。
※通常は中央の位置に!

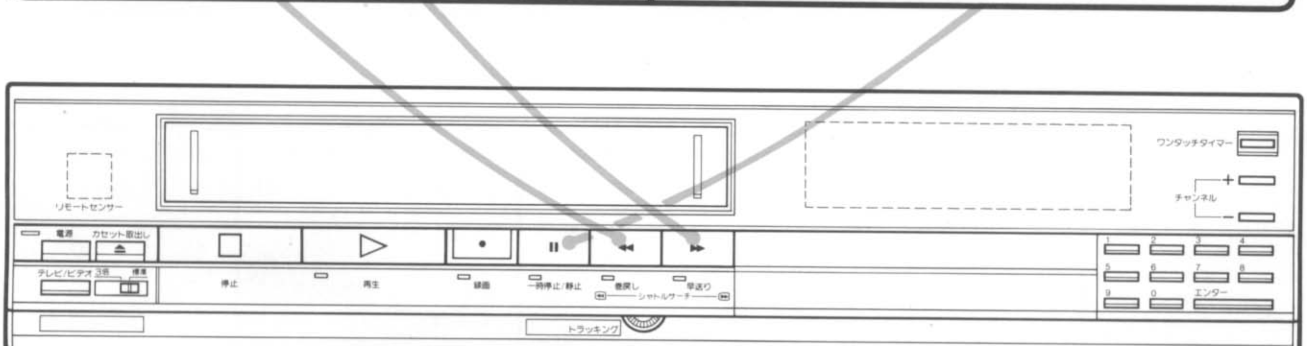
いろいろな再生のしかた

再生のしかた1〜3をしたのち

画面を見ながら **巻戻し/シャトルサーチ再生**	画面を見ながら **早送り/シャトルサーチ再生**	画面を止めて見る（ストップモーション） **簡易静止画再生**	静止画面のノイズを送り出す **コマ送り再生**
			
巻戻しボタンを押す	早送りボタンを押す	一時停止／静止ボタンを押す	簡易静止画再生中、一時停止／静止ボタンを押す 押し続けるとノイズが送られます。 （約2秒以上押し続けるとノイズ送りのスピードが速くなります）

●押している間だけシャトルサーチできます。
●シャトルサーチ中は画面に数本のノイズが出ますが故障ではありません。シャトルサーチのスピードは、標準モード、3倍モードともそれぞれ約7倍です。
●音声は出ません。

●簡易静止画再生が約5分以上続くと、自動的に停止状態になります。
●画面にノイズが出たり、画面全体がゆれたりしますが故障ではありません。
●音声は出ません。
●再生ボタンを押すと、再生状態に戻ります。



巻戻し/早送りシャトルサーチ再生について…
録画したカセットを再生するときコマーシャルを飛ばし見したり、ドラマの名場面を探す時などに便利です。

簡易静止画再生・コマ送り再生について…
スポーツの一瞬の動きや映画の一コマを止めて見ることができます。

タイマー録画のしかた

準　備

- カセットを入れて電源ランプを点灯させる
- 録画時間切換スイッチを「標準」または「3倍」にする
- 入力切換スイッチを「チューナー」にする

たとえば、月曜日の午前10時10分に水曜日の午後8時(20：00)から9時50分(21：50)までの「4」チャンネルをプログラム番号「1」に合わせる場合

1 時計／時刻合わせ／プログラム切換スイッチを「プログラム」にする

2 設定－／＋ボタンで「プログラム番号」を合わせる

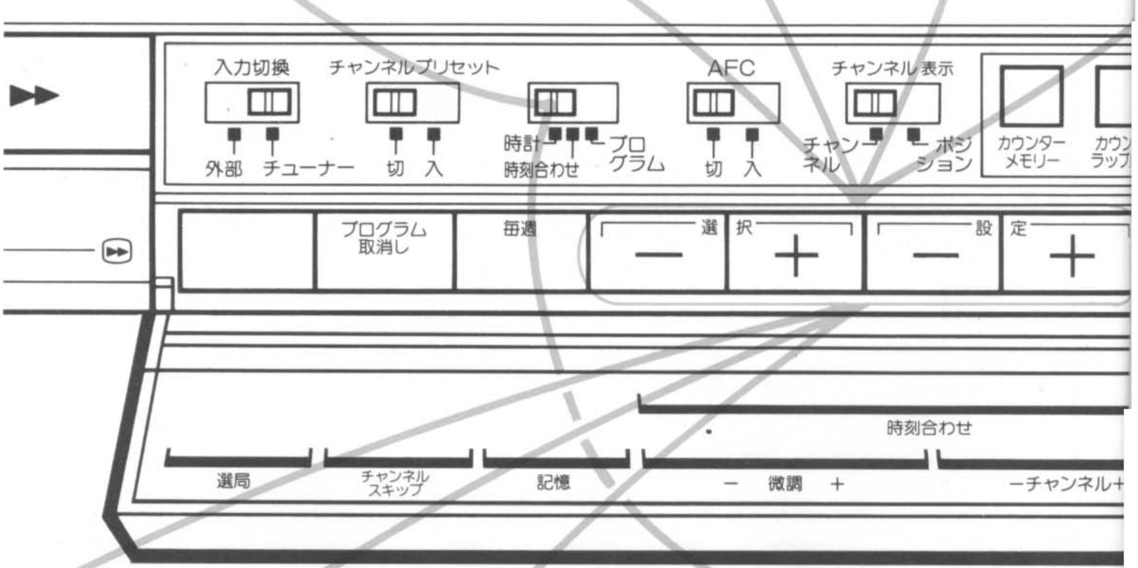
選択＋ボタンを押す

3 設定－／＋ボタンで「曜日」を合わせる

選択＋ボタンを押す

4 設定－／＋ボタンで録画開始時刻の「時」を合わせる

選択＋ボタンを押す



6 設定－／＋ボタンで録画終了時刻の「時」を合わせる

選択＋ボタンを押す

(曜日表示が消える)

7 設定－／＋ボタンで録画終了時刻の「分」を合わせる

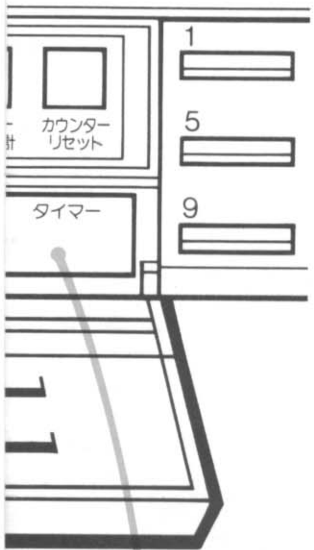
選択＋ボタンを押す

8 設定－／＋ボタンで「チャンネル」を合わせる

9 さらにいくつかの番組を予約するときは

選択＋ボタンを押し2で空いているプログラム番号を選び3〜8の操作をくり返します

10 時計／時刻合わせ／プログラム切換スイッチを「時計」にする



5 設定−／＋ボタンで録画開始時刻の「分」を合わせる

選択＋ボタンを押す

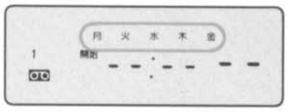
曜日の合わせ方

3で曜日をセットするとき、設定＋ボタンを押すと曜日表示は次のように変わります

1週目	2週目	毎　日	月〜土	月〜金	1週目
日→……→土→	2日→……→土→	日…………土→	月…………土→	月…………金→	日→……

月〜金まで同じ時間に同じテレビチャンネルを録画したいときは

3で曜日をセットするとき、設定−ボタンを押して月〜金までの表示が全て点灯する位置に合わせます



月〜土まで同じ時間に同じテレビチャンネルを録画したいときは

3で曜日をセットするとき、設定−ボタンを押して月〜土までの表示が全て点灯する位置に合わせます

毎日同じ時間に同じテレビチャンネルを録画したいときは

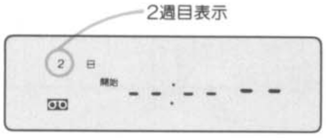
3で曜日をセットするとき、設定−ボタンを押して日〜土までの表示が全て点灯する位置に合わせます

毎週つづけて同じ時間に同じテレビチャンネルを録画したいときは

ひとつのプログラム予約完了後、毎週ボタンを押します
（毎週予約を取消すときは、再び毎週ボタンを押して 毎週 表示を消します）

1週目、2週目とは……

「1週目」はセット時を含め7日間（24時間×7日）、「2週目」は次の7日間（24時間×7日）を指します。たとえば、本日が木曜日の午後10:00ならば…
1週目は、来週の木曜日の午後9:59までです。2週目は、来週の木曜日の午後10:00から再来週の木曜日の午後9:59までです。
（2週目の予約をするときは、表示部に"2"の表示がでるところまで選択＋ボタンで進めます。）



日 月 火 水	木	金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日
	本日	今週	来　　週	再来週	
	1 週 目			2 週 目	

午後10:00 ⟶ 午後9:59　午後10:00 ⟶ 午後9:59

11 全ての番組を予約したらタイマーボタンを押して「入」にする
（タイマー 表示が点灯）

選択−ボタンで…

点滅表示部を戻し、設定−/＋ボタンで訂正することもできます

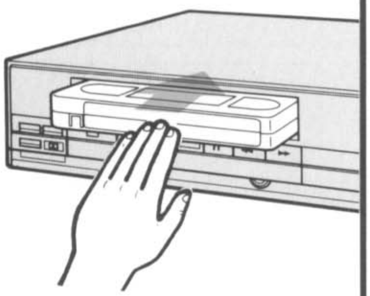
プログラムを取消したいときは

取消したいプログラム番号に合わせ、「プログラム取消しボタン」を押す

- ●タイマー録画が終わったらタイマーボタンを押して「切」にします
- ●タイマー録画中に録画をやめる場合はタイマーボタンを押して タイマー 表示を消してから停止ボタンを押してください
- ●ツメのついていないカセットが入っている時は、テープが戻され タイマー 表示が点滅します

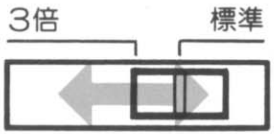
ワンタッチタイマー録画 30分単位、4時間まで録画時

1 カセットを入れる

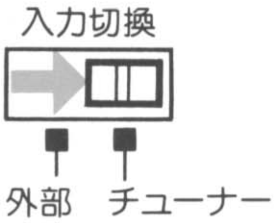


電源ランプ、OO表示が点灯します

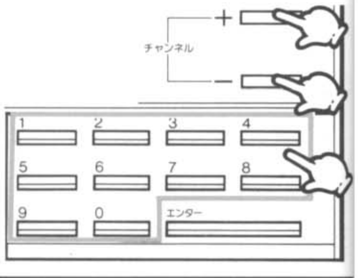
2 録画時間切換スイッチを「標準」または「3倍」にする

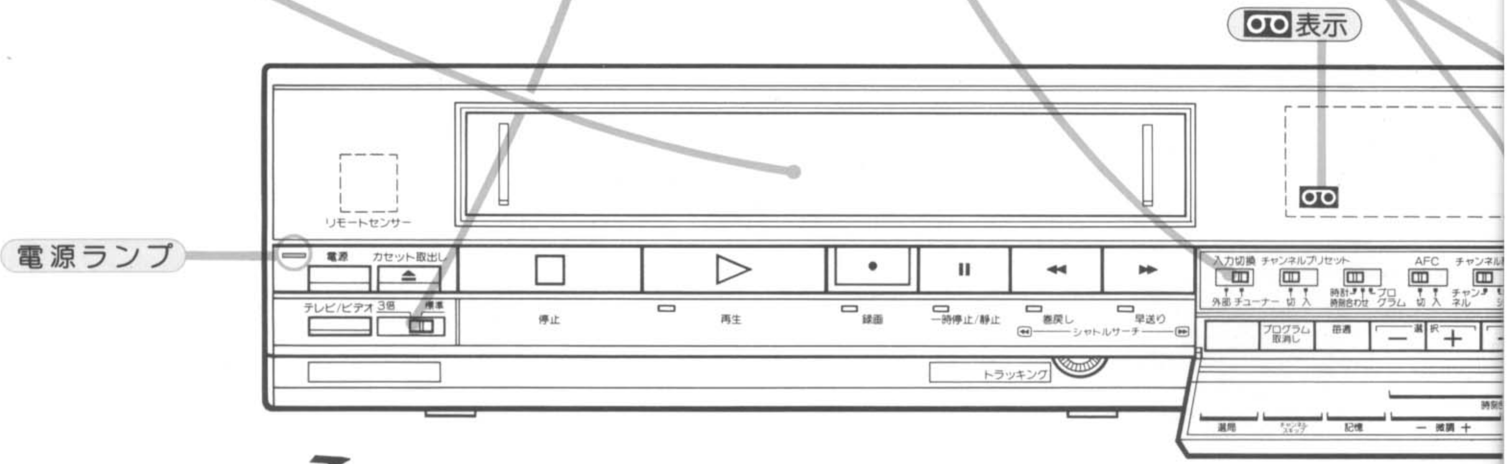


3 入力切換スイッチを「チューナー」にする



4 チャンネルボタン(プラス/マイナス)またはダイレクトボタンで録画したいテレビチャンネルを選ぶ



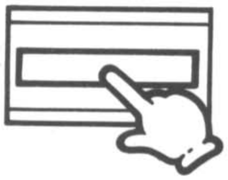


おやすみ前や急の外出時などに録画したい番組を録画するときにたいへん便利です。

間をセットできます。

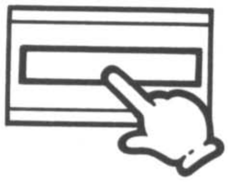
今見ている番組を録画するときは

5 ワンタッチタイマーボタンを押す



録画終了 --:--

6 再びワンタッチタイマーボタンを押す



録画が始まります

録画終了 0:30

●録画が始まると時間が減算し、残り時間を表示します。

録画終了 0:30 → 録画終了 0:29

押す回数により30分単位で 0:30 ～ 4:00 までセットできる
4:00 表示後さらに押すと 0:00 になります

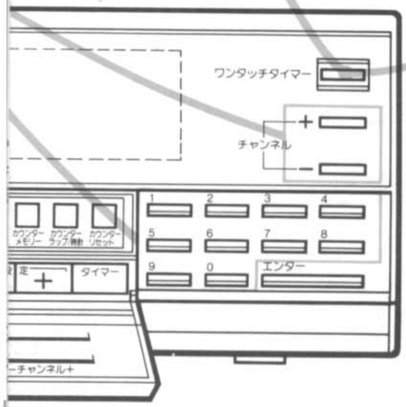
▼

セット後、選択－/＋ボタンで点滅部を移動させ設定－/＋ボタンで分単位(最大8:59まで)の設定ができます
再びワンタッチタイマーボタンを押す

▼

0:00 になると自動的に電源が切れる

●ワンタッチタイマー録画を途中でやめるときは停止ボタンを押してください。



タイマー録画時のご注意

■タイマーボタンを押した後 点滅する表示があるときは……

●録画開始時刻または録画終了時刻がセットされていない。
■プログラムの内容を確認してください。
●カセットが入っていない。
■カセットを正しく入れてください。
●時計/時刻合わせ/プログラム切換スイッチが「プログラム」のままになっている。
■「時計」の位置にもどしてください。

■タイマー表示部が 0:00 で点滅しているときは…

●タイマー録画前や録画中に停電があり、プログラム内容が消えてしまった。
■現在時刻を合わせてから再度タイマー予約をセットしてください。

■タイマー録画中は……

●停止/一時停止/静止の操作はできません。

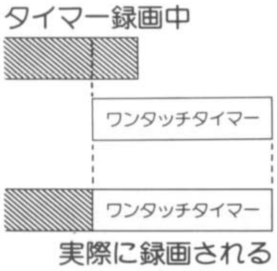
※タイマーボタンを「切」にしてから操作する。

■ワンタッチタイマー録画をすると……

●タイマー録画予約中および実行中でも、ワンタッチタイマー録画が優先されます。

たとえば

録画終了時刻まで30分間しか残っていない場合でも、ワンタッチタイマーで60分間セットすると録画は60分後に終了します。

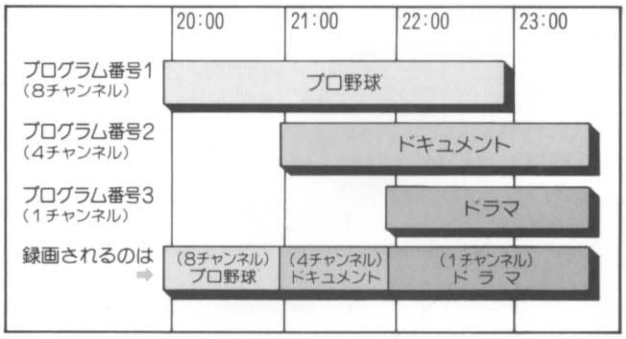


■タイマー録画では……

●録画開始の約20秒前に電源が入り、一時停止を数秒したのち録画が開始します。

●オートリワインド機構は動作しません。テープの最後まで録画をすると、カセットがカセット挿入口から出てきて電源が切れ、タイマー 表示が点滅します。

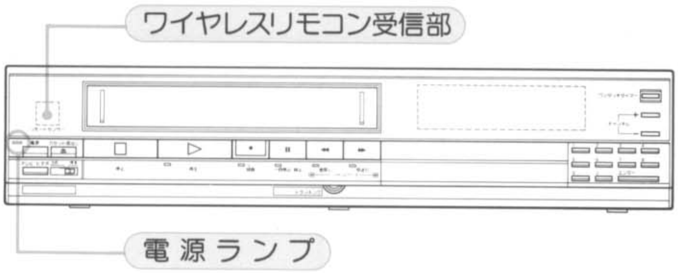
■もし、同じ日に予約した番組の時刻が重なったら……

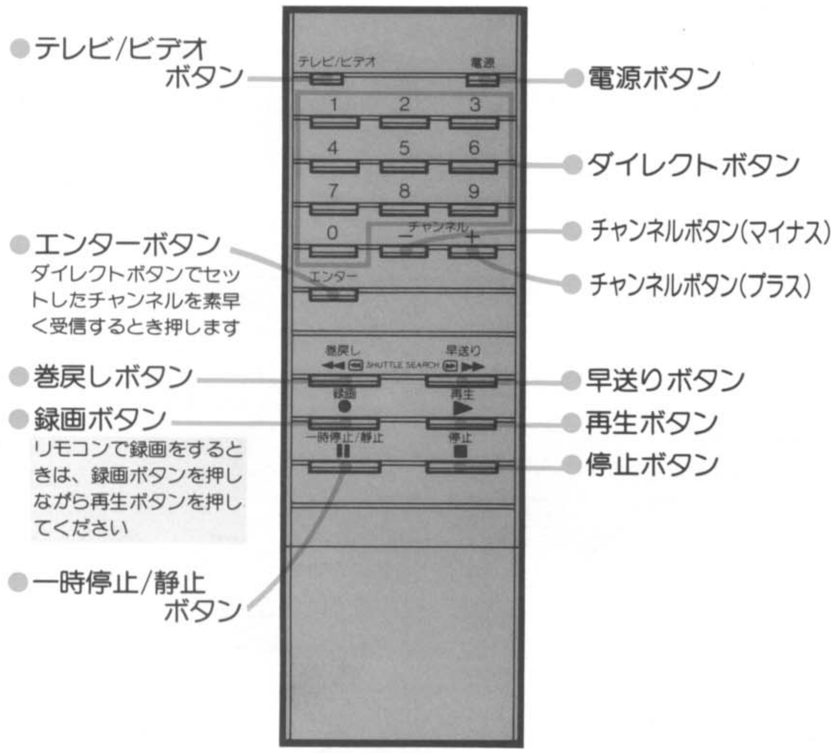


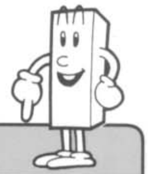
●このように録画されますから、予約した時刻が重なったときは注意してください。ただし、予約した曜日が異っている場合は正しく録画されます。

ワイヤレスリモコン(付属)について

付属のワイヤレスリモコンを使って、離れた場所(約8m)からボタンを押すだけで本機を操作することができます。







ワイヤレスリモコンは

- ●落としたり、強いショックをあたえないでください。
- ●内部に水など液体がこぼれないよう注意してください。
- ●重いものをのせたり、ふんだりしないでください。
- ●直射日光のあたる所や暖房器のそばなど温度のあがるところにはおかないでください。

乾電池について

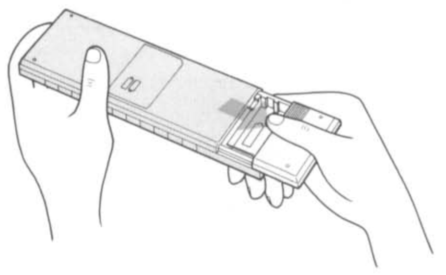
★リモコン操作ができる距離が短かくなってきたら電池が消耗してきています。新しい電池に交換してください。

★リモコンには単四乾電池(UM-4)型をご使用ください。乾電池の誤まった使いかたをしますと「液もれ」や「破裂」する危険がありますので、次のことにご注意ください。

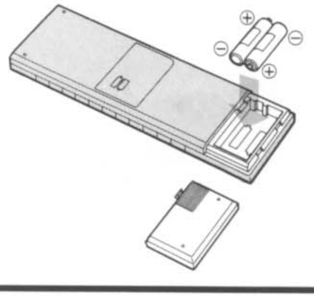
- ●乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。
- ●新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ●乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがありますから、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ●乾電池を加熱したり、分解したり、ショートしたり、火の中に投入しないでください。
- ●長時間ご使用にならない時は、乾電池の「液もれ」が原因で故障になる場合がありますので、乾電池を取り出しておいてください。

乾電池の入れかた

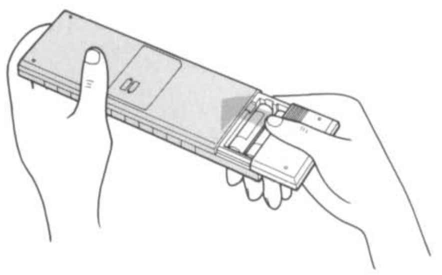
1 裏側のフタを手前にスライドさせてはずす



2 乾電池(単四2個)を正しく図のようにして入れる



3 カチッと音がするまでフタを押しこむ

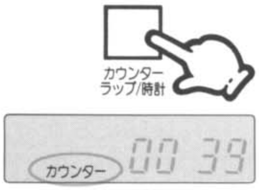


便利な使いかた〔カウンターメモリー/ラップ表示/

カウンターメモリー

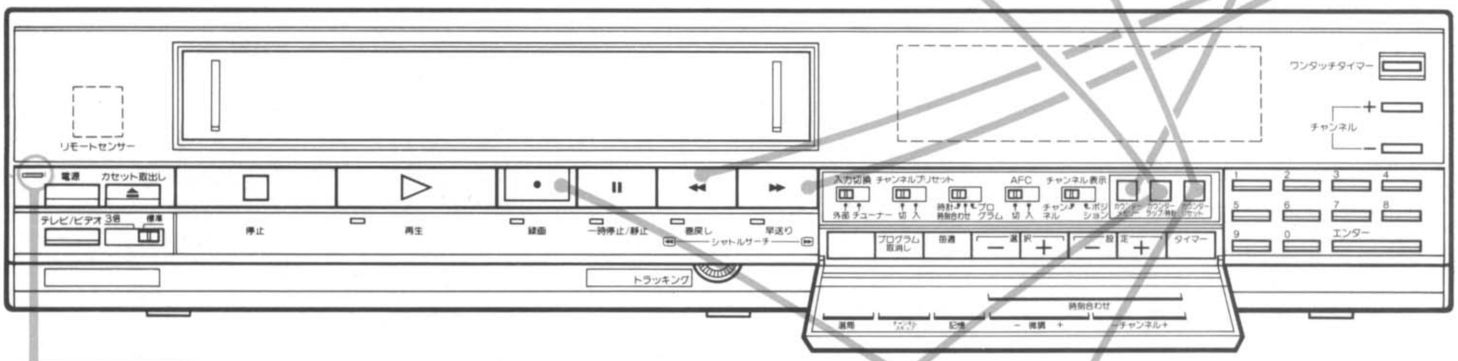
カセットテープの早送りや巻戻し中にカウンターが 0000 になると、自動的にテープを停止させます。ワンシーンのくり返し見、テープの途中に録画された場面を探すときなどに便利です。

1 カウンターラップ/時計切換ボタンを押して〝カウンター〞表示にする



2 カウンターリセットボタンを押して 0000 にする

3 カウンターメモリーボタンを押して「■入」にする

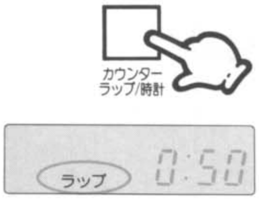


電源ランプ

ラップ表示

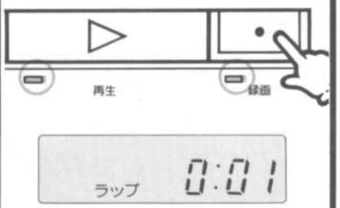
録画時間を分単位で表示します。一時停止/静止ボタンでつなぎ録りをしたときでも、録画時間のみを加算していくので、テープの残り録画時間を知りたいときにも便利です。

1 カウンターラップ/時計切換ボタンを押して〝ラップ〞表示にする



2 カウンターリセットボタンを押して 0:00 にする

3 録画ボタンを押して録画を始める



ラップタイムを表示する

オートリワインド/プレイメモリー

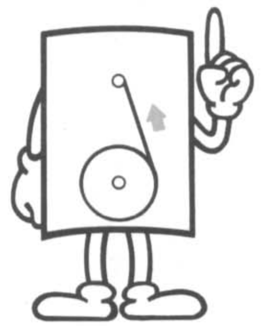
4 録画・再生が終わったらテープを巻戻しまたは早送りする

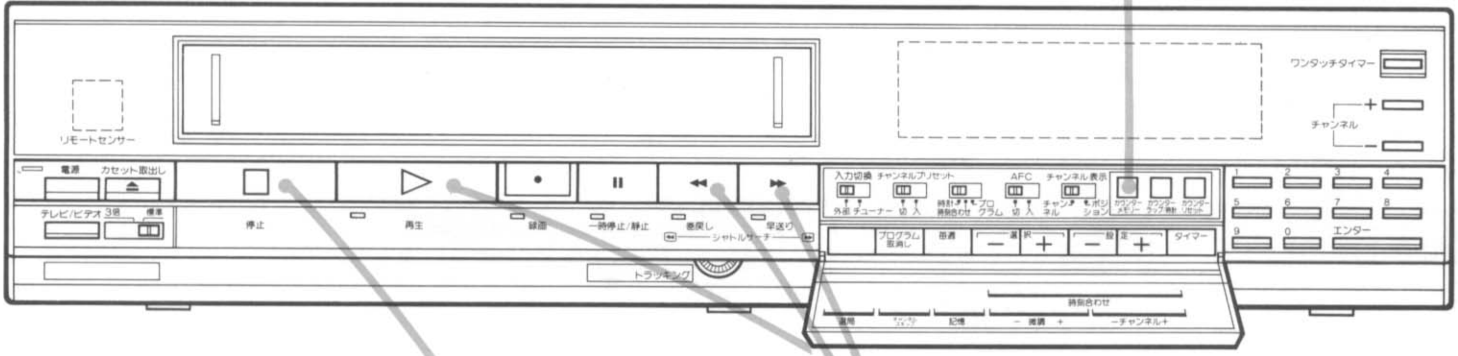
カウンターが 0000 になると停止します

オートリワインド

録画・再生中にテープが最後まで走行されたとき、自動的に巻戻します。

カウンターメモリーボタンが「▬入」になっているとカウンターメモリーが働き 0000 付近で停止します。
タイマー録画中およびワンタッチタイマー録画中は働きません。



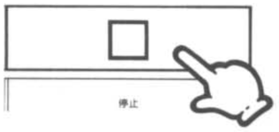


プレイメモリー

カセットを巻戻しあるいは早送りすると、カウンターが 0000 の位置またはテープの始めから再生を始めます。

●動作中に、電源/タイマー/巻戻し/早送り/カセット取出し/停止/再生ボタンのいずれかを押すと、プレイメモリーは解除されます。

1 停止ボタンを押してテープを止める

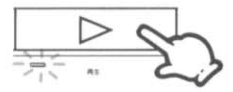


2 巻戻しまたは早送りボタンを押す

2秒以内に

3 再生ボタンを押す

再生ランプが点滅する

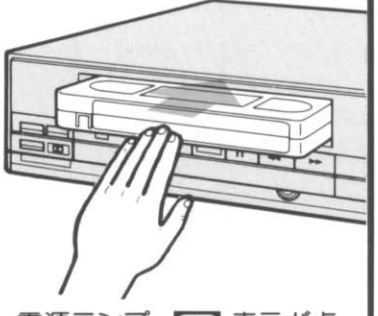


●カウンターメモリーボタンが「▬入」のときは、カウンターが 0000 の位置から自動的に再生を始める。
●カウンターメモリーボタンが「■切」のときは、テープの始めから自動的に再生を始める。再生を始めると、再生表示が点灯に変わる。

カメラ録画

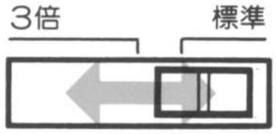
別売のカメラアダプターを接続すると、カメラ録画をお楽しみいただけます。

1 カセットを入れる

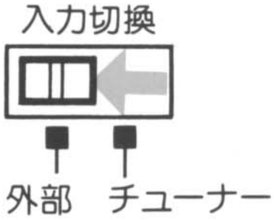


電源ランプ、○○ 表示が点灯します

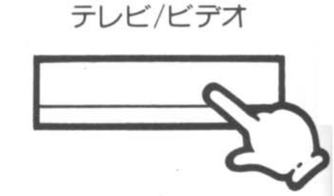
2 録画時間切換スイッチを「標準」または「3倍」にする



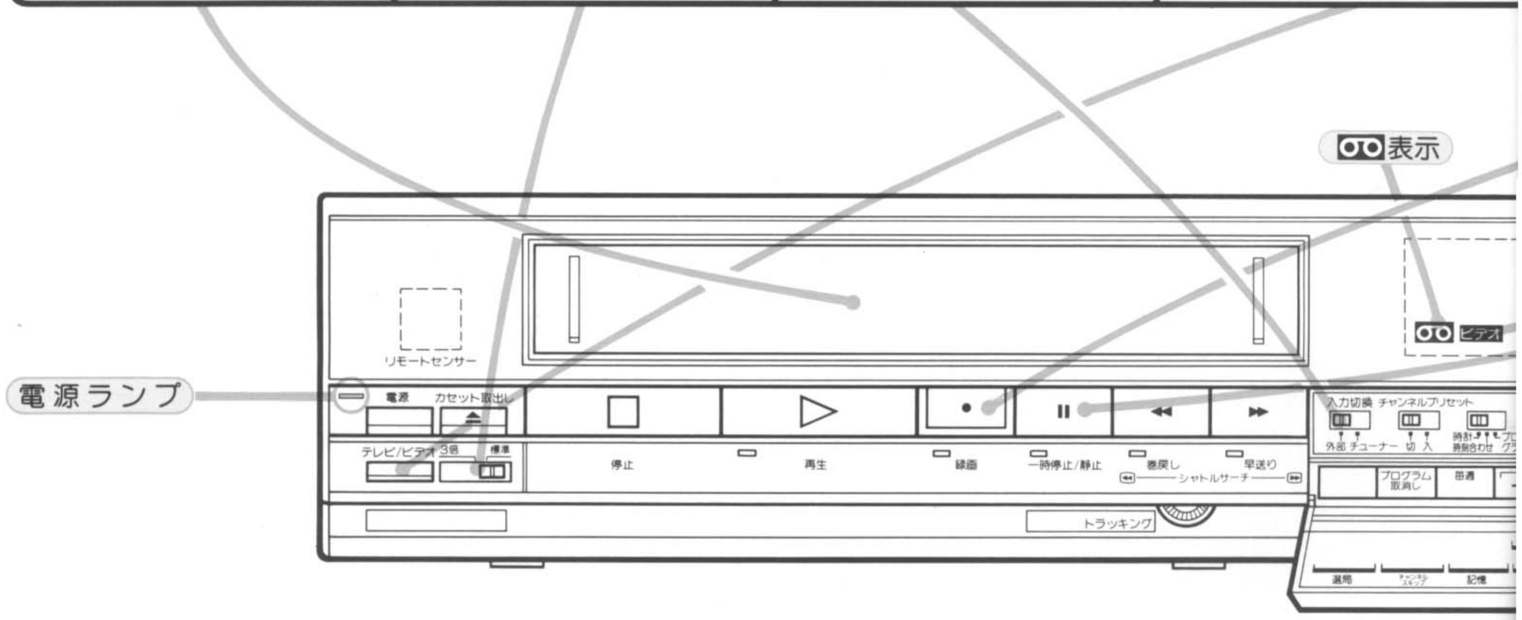
3 入力切換スイッチを「外部」にする



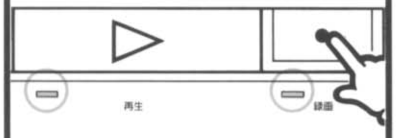
4 テレビ/ビデオボタンを押す



ビデオ 表示が点灯します

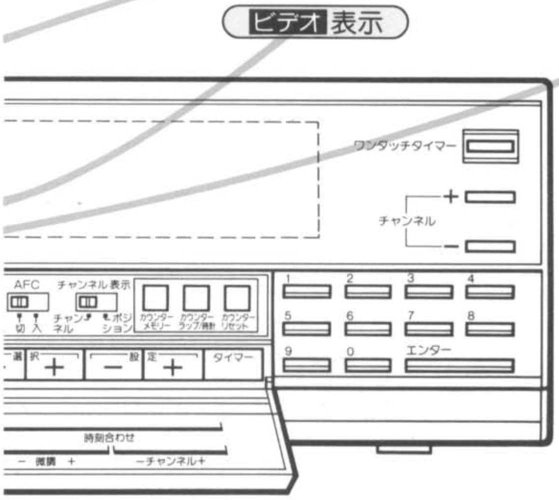


一時中断するときは

5 テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル(1)または(2)にする	6 録画ボタンを押す	7 一時停止/静止ボタンを押す
	 カメラ録画が始まります	 ふたたび録画するときは再生ボタンを押します。

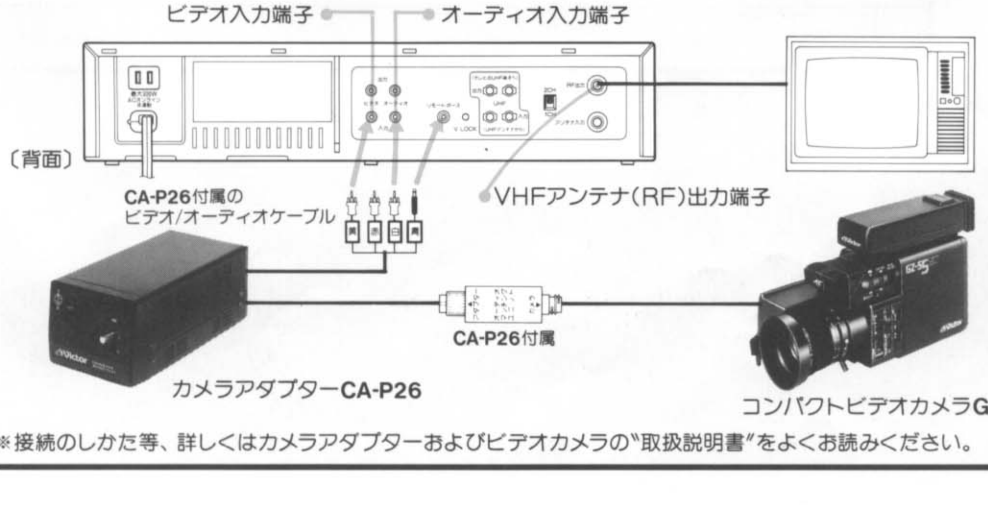
電子ビューファインダー付きのカメラを接続した場合、再生時はカメラの電子ビューファインダーで再生画像を見ることはできません。

一時停止が約5分以上続くとテープやビデオヘッド保護のため自動的に停止状態になります。



カメラ録画システム

カメラアダプター**CA-P26**とコンパクトビデオカメラ**GZ-S5**を利用した場合の例です。

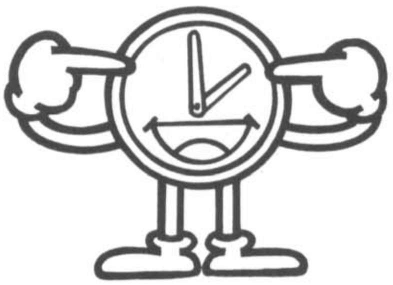


当社既発売のカメラアダプター**CA-P25**を使ってビデオカメラを接続する場合は、オーディオマッチングユニット(別売)が必要になります。お手数でもお買上げの販売店もしくはビクターサービス窓口にご相談ください。

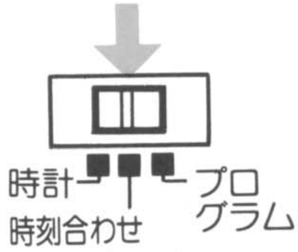
※接続のしかた等、詳しくはカメラアダプターおよびビデオカメラの"取扱説明書"をよくお読みください。

時計の合わせかた〔現在時刻を合わせる〕

タイマーボタンを「切」にする



1 〝時計／時刻合わせ／プログラム切換スイッチ〟を「時刻合わせ」にする

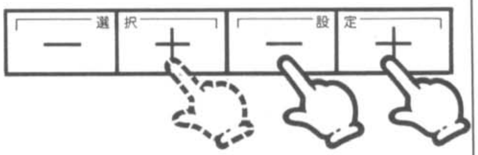


たとえば
木曜日
午後3:30に
合わせる

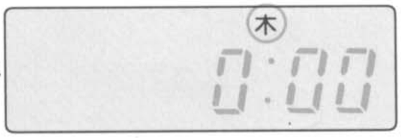
2

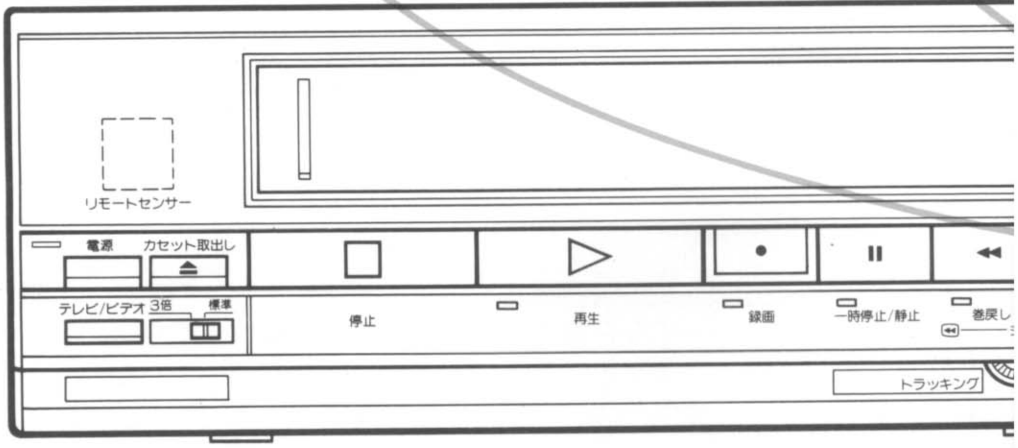
〝設定－／＋ボタン〟で「曜日」を合わせる

選択＋ボタンを押す



木曜日→木

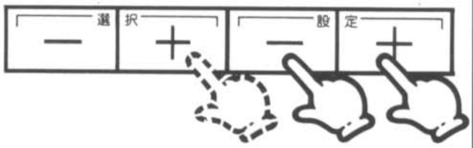




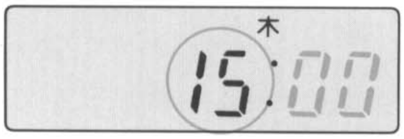
3

〝設定－/＋ボタン〞で「時」を合わせる

選択＋ボタンを押す

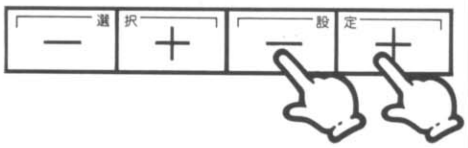


午後3時→15



4

〝設定－/＋ボタン〞で「分」を合わせる

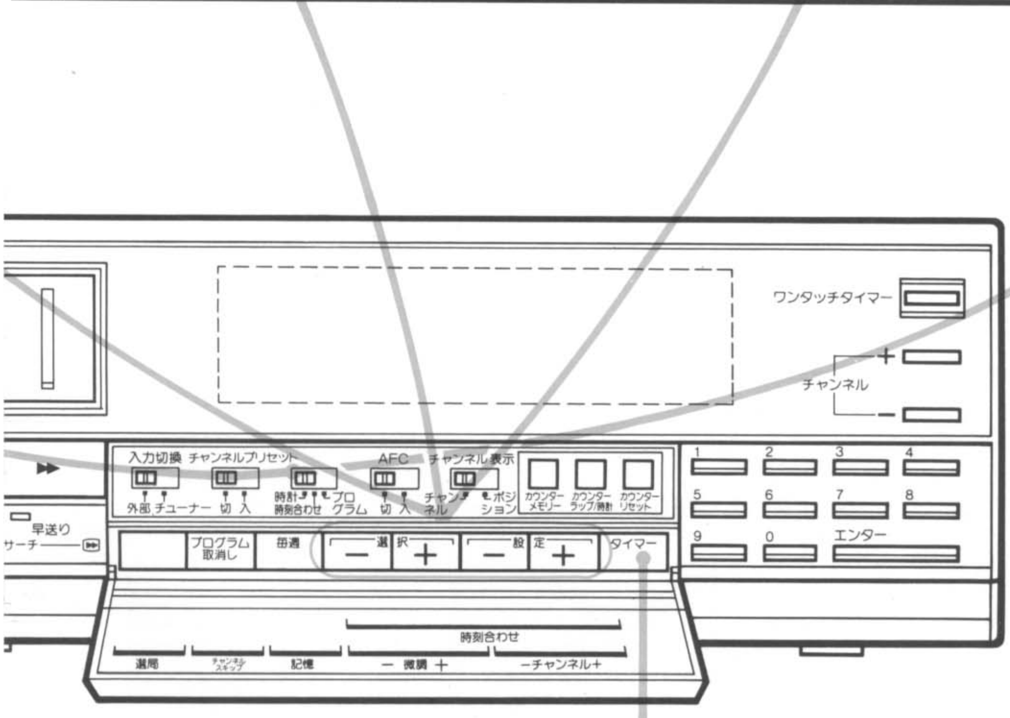


30分→30

5

〝時計/時刻合わせ/プログラム切換スイッチ〞を「時計」に合わせる

時計が動き始めます



タイマーボタン「切」

停電のときは

時計表示部が 0:00 で点滅しているときは停電があったことを示します。
再び時計合わせをしてください。

チャンネル選局のしかた

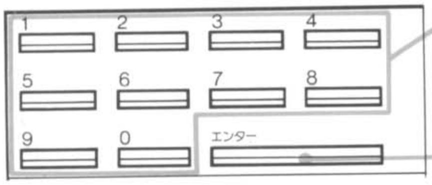
[本機は、チャンネルボタン(プラス/マイナス)またはダイレクトボタンで「チャンネル」を合わせます]

●チャンネル表示スイッチは工場から出荷されるとき「チャンネル」側にセットされています。
●チャンネル表示スイッチは通常は動かさないでください。

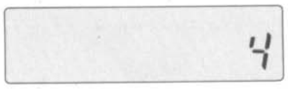
チャンネル表示スイッチを「チャンネル」側にする

ダイレクトボタンを使って

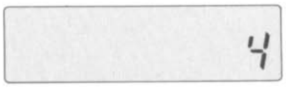
ダイレクトボタンでチャンネル数を直接押します。
ダイレクトボタンで、1ch～12ch(VHF)および13～62ch(UHF)のテレビチャンネルが受信できます。



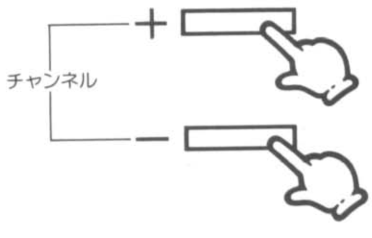
1 ダイレクトボタンで合わせたいチャンネル数(1ch～62ch)を押す。
＊1ch～62ch以外のチャンネルを押したときは元のチャンネル表示にもどります。



2 エンターボタンを押す。
これで希望のチャンネルを受信できます。
(2秒以上たつと、自動的に受信します)



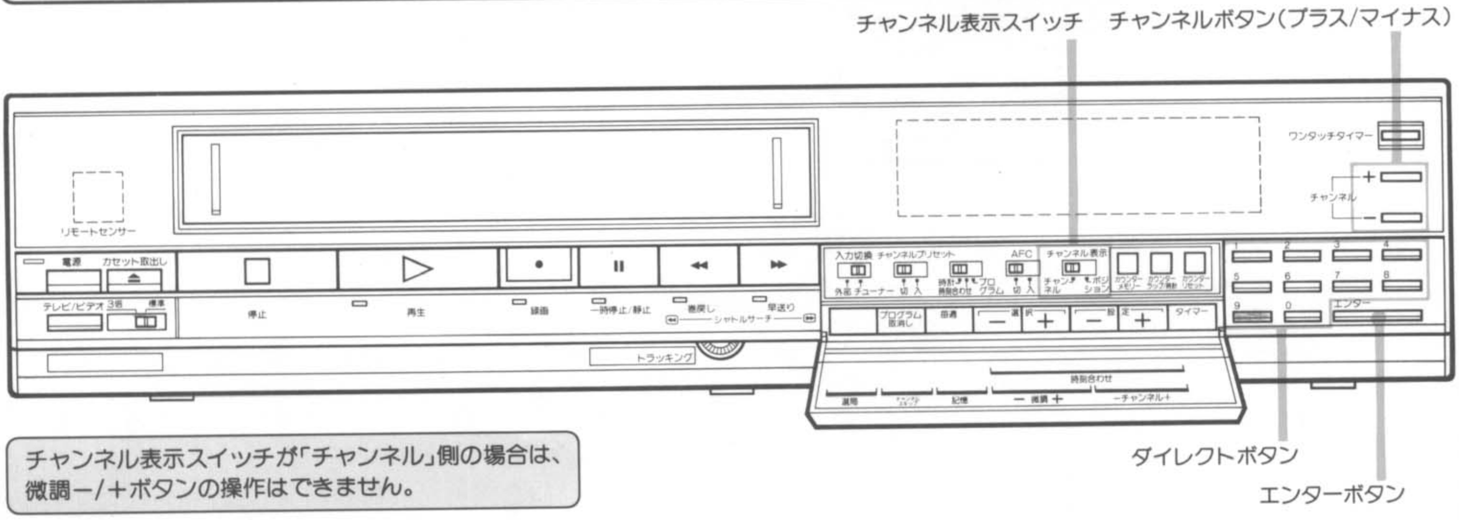
チャンネルボタン(プラス/マイナス)を使って



チャンネルボタン(プラス/マイナス)で記憶されているチャンネル数を呼び出します。チャンネルボタン(プラス/マイナス)には工場出荷時、1ch～12ch(VHF)を記憶してあります。
「＋」側を押すと受信チャンネルがアップ、「－」側を押すとダウンします。
1度押すと1つずつ、押し続けると連続してアップ/ダウンします。

「＋」(1ch→2ch→3ch→………12ch→1ch→2ch………)
「－」(1ch→12ch→11ch→………1ch→12ch→11ch………)

■AFCスイッチについて
共聴などで周波数がわずかにずれているときに補正します。通常は「切」にしてください。
●「切」…通常に放送を受信しているとき。
●「入」…有線TV/テレビゲーム/パソコンなどから信号を入力しているとき。



チャンネル表示スイッチが「チャンネル」側の場合は、微調－/＋ボタンの操作はできません。

■放送しているチャンネル数がわからない
■お好みの順番でチャンネル合わせをしたいときは

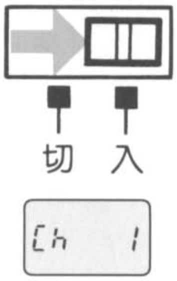
26~28ページの「受信チャンネル(番号/表示)変更について」をご覧ください。

チャンネルのスキップ(飛ばす)について

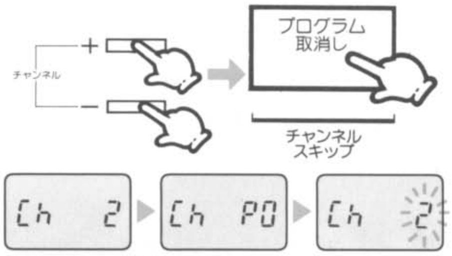
使わない(受信していない)チャンネルをチャンネルスキップボタンを使用してスキップ(飛ばして選局)することができます。
たとえば…
(1ch→2ch→3ch→4ch…)と記憶されているとき、2chをスキップすると(1ch→3ch→4ch…)とチャンネル選局できます。

1 チャンネルプリセットスイッチを「入」にする

チャンネルプリセット



2 チャンネルボタン(プラス/マイナス)でスキップしたいチャンネル数に合わせ、チャンネルスキップボタンを押す

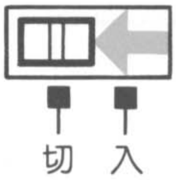


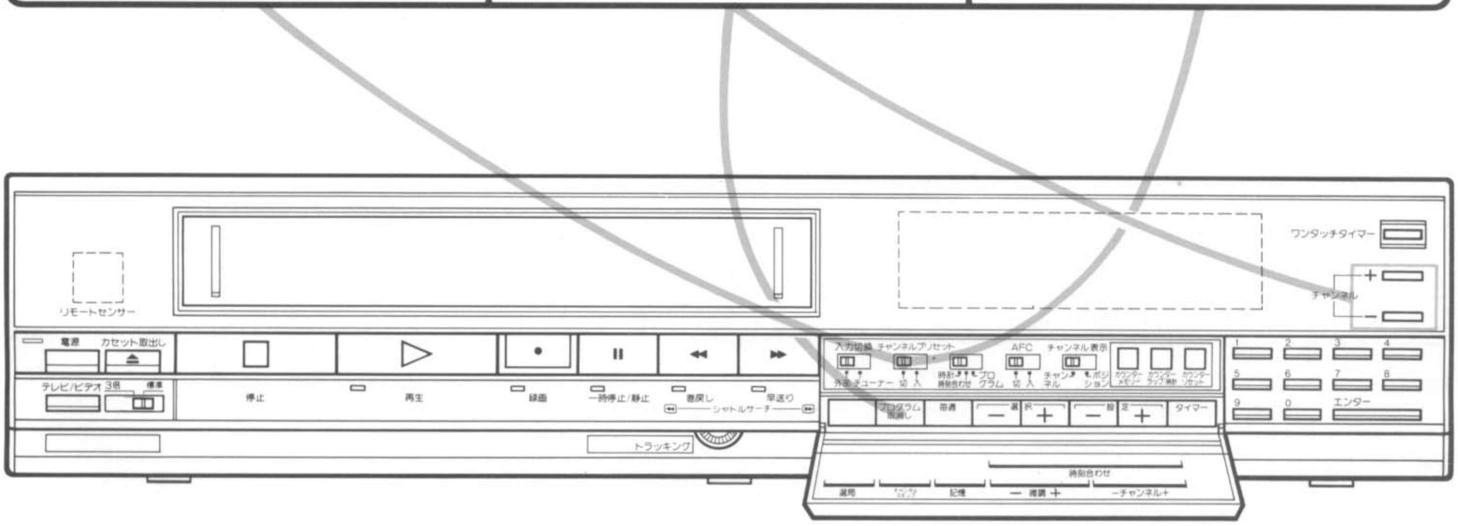
点滅しているときはすでにスキップされています

3 チャンネルプリセットスイッチを「切」にする

●これでスキップ完了です。
次回からチャンネルボタン(プラス/マイナス)を押してもこのチャンネルは表示しません。

チャンネルプリセット



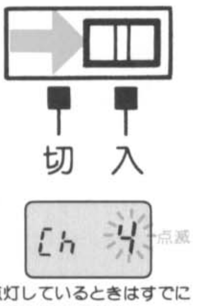


チャンネルの記憶について

チャンネルボタン(プラス/マイナス)に記憶されていないチャンネル(13ch〜62ch)またはスキップしたチャンネルを再び記憶することができます。

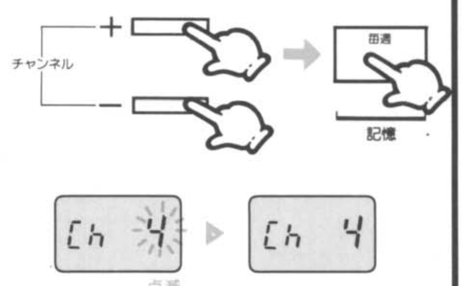
●スキップされたチャンネルは点滅表示しています。

1 チャンネルプリセットスイッチを「入」にする



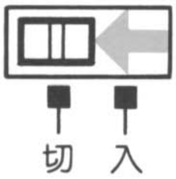
点灯しているときはすでに記憶されています

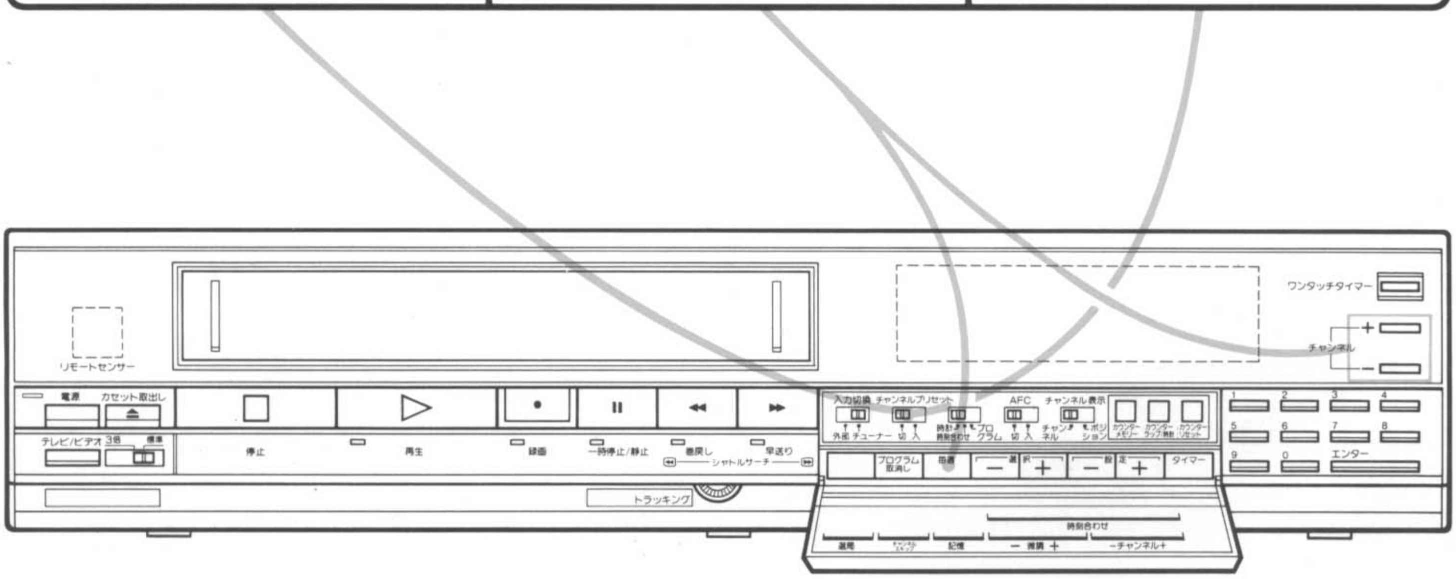
2 チャンネルボタン(プラス/マイナス)で記憶したいチャンネル数をセットし記憶ボタンを押す



3 チャンネルプリセットスイッチを「切」にする

●これで記憶完了です。
次回からこのチャンネルはチャンネルボタン(プラス/マイナス)で操作できます。





受信チャンネル(番号/表示)変更について

[お好みの順番でチャンネルをセットしたいとき]

●チャンネル数を各ポジション番号(1~12)にあらかじめ記憶し、チャンネルボタン(プラス/マイナス)またはダイレクトボタンで呼び出します。
●23~25ページの「チャンネル選局のしかた」でのチャンネル数順にチャンネル選局をするときは必要ありません。
●チャンネル表示スイッチは工場から出荷されるとき「チャンネル」側にセットされています。

準備

●入力切換スイッチを「チューナー」にする

＊工場から出荷されるとき、あらかじめ1~12のポジションに各々ポジションと同数のチャンネルがセットされています。

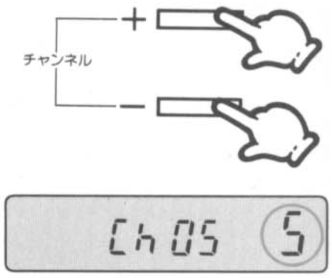
例として5のポジション番号に45チャンネルを合わせる場合

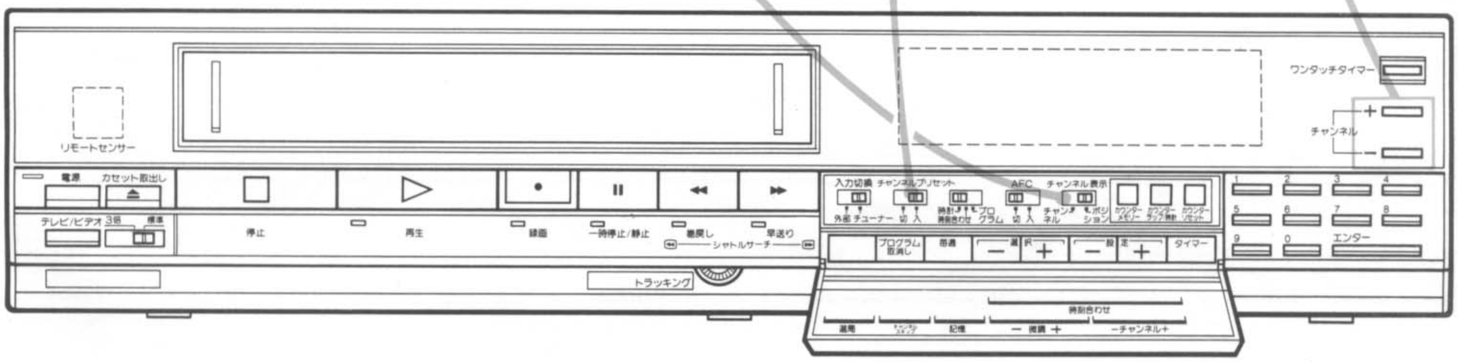
1 チャンネル表示スイッチを「ポジション」にする

2 チャンネルプリセットスイッチを「入」にする

チャンネルプリセット

3 チャンネルボタン(プラス/マイナス)でポジション番号をセットする





受信チャンネル(番号/表示)変更について(つづき)

●セットしたチャンネルの画面が乱れるときは…微調ー／＋ボタンで調整してください。

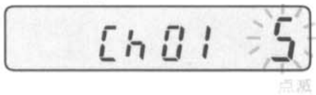
4 希望するチャンネルをセットするときは

●セットの方法は2通りあります。

選局ボタンでセットする

1 選局ボタンを押す

(1ch～62chの順に自動選局が放送しているチャンネル数を呼び出します)



2 希望するチャンネル数を受信するまで選局ボタンを何回か押す

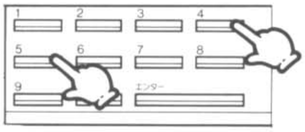
〈たとえば、1ch・3ch・4ch……に放送しているチャンネル数があるとき〉1度押すと1ch、もう一度押すと3chというようにオートサーチします。

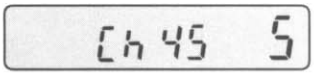
*オートサーチ中に再度チャンネルサーチボタンを押すと、オートサーチは停止します。
*チャンネルサーチをおこなうときは、AFCスイッチを「入」にしてください。

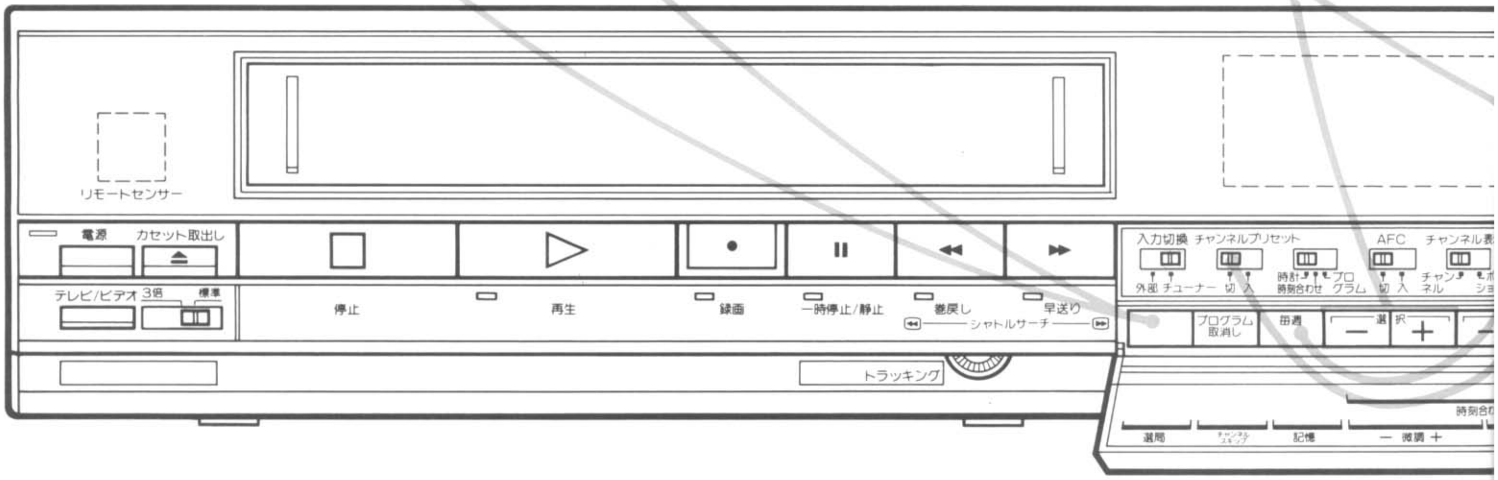
ダイレクトボタンでセットする

ダイレクトボタンで希望するチャンネル数(1～62ch)を押す

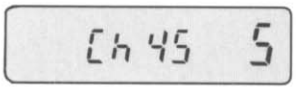
●たとえば45チャンネルの場合



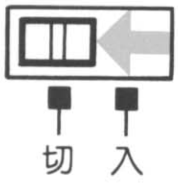




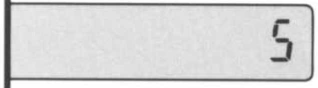
5 記憶ボタンを押す



6 チャンネルプリセットスイッチを「切」にする



7 通常の操作において表示する番号はポジション番号です

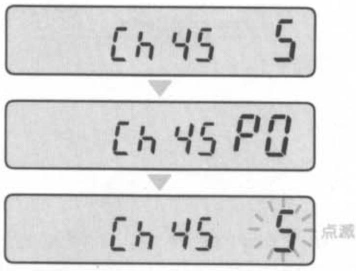


使わない（受信していない）チャンネルをスキップ（飛ばす）したいときは

たとえば（1ch→2ch→3ch→4ch…）と記憶されているとき、2chをスキップすると（1ch→3ch→4ch…）とチャンネル選局できます。

スキップのしかた

① チャンネルプリセットスイッチを「入」にする
② チャンネルボタン（プラス/マイナス）でスキップしたいポジション番号に合わせ（点滅しているときはすでにスキップされています）チャンネルスキップボタンを押す



③ チャンネルプリセットスイッチを「切」にする。これでスキップ完了です。次回からチャンネルボタン（プラス/マイナス）を押してもこのチャンネルは表示しません。

スキップしたチャンネルを再び受信するには

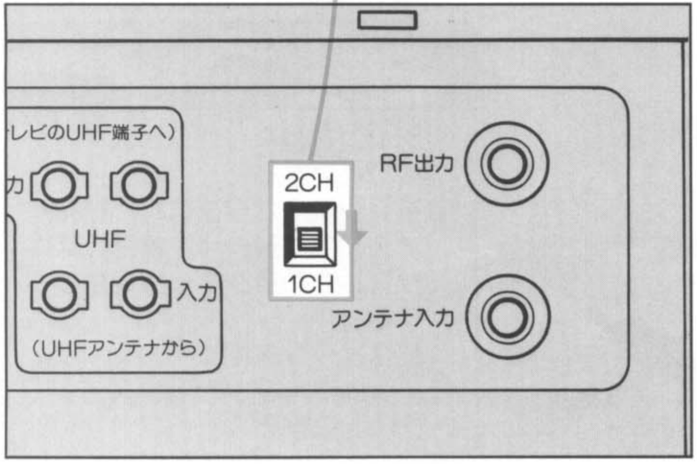
① チャンネルプリセットスイッチを「入」にする
② チャンネルボタン（プラス/マイナス）でポジション番号にスキップしたチャンネル数をセットする
③ 記憶ボタンを押す
④ チャンネルプリセットスイッチを「切」にする

接続のしかた

1 RFコンバーターのチャンネルを合わせます

RFコンバーターは、テープに録画される信号（映像と音声）やテープから再生される信号をテレビ放送の電波と同じ信号に変換する装置です。このRFコンバーターでつくられた電波は、放送されていない空チャンネル（東京なら2チャンネル、大阪なら1チャンネル）を利用してテレビにうつしだされます。

RFコンバーターのチャンネルは、工場から出荷されるとき、2チャンネル（2CH）にセットされています。2チャンネルに放送局がある地域は1チャンネル（1CH）にRFコンバーターを切換えてください。

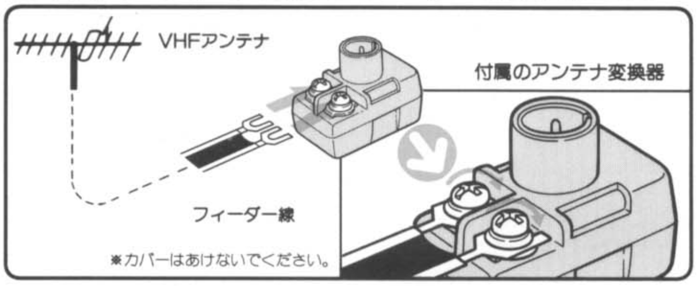


2 テレビのアンテナ線をはずしVHFアンテナ線を加工します

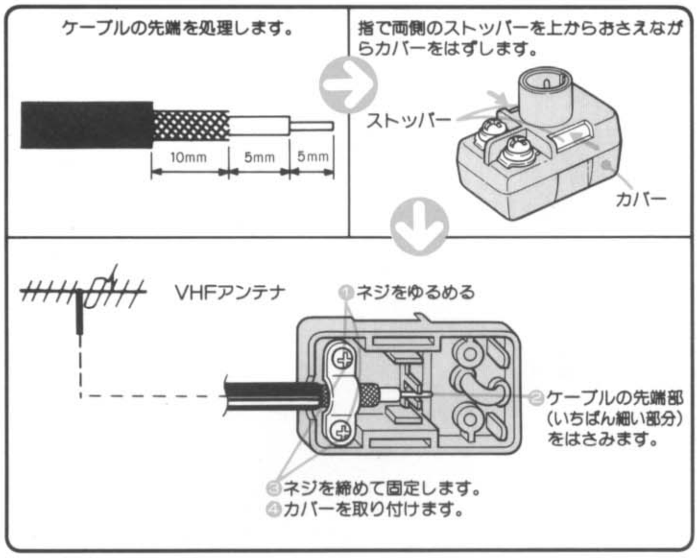
アンテナ線には、VHF（1～12チャンネルまでの受信用）アンテナとUHF（13～62チャンネルまでの受信用）アンテナがあります。

UHFアンテナ線は加工しないでください。

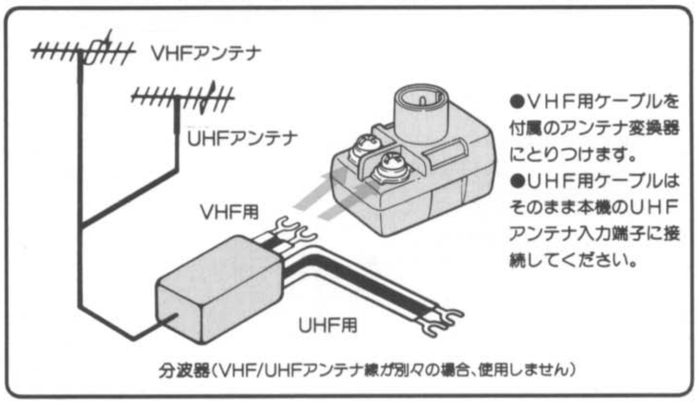
■VHFアンテナ線がフィーダー線の場合は



■VHFアンテナ線が同軸ケーブルの場合は



■アンテナ線に分波器を使用している場合は



3 ビデオとテレビを図のようにつなぎます

ビデオもテレビと同じようにアンテナの条件が悪いときれいな画質で録画・再生できません。正しく接続してください。

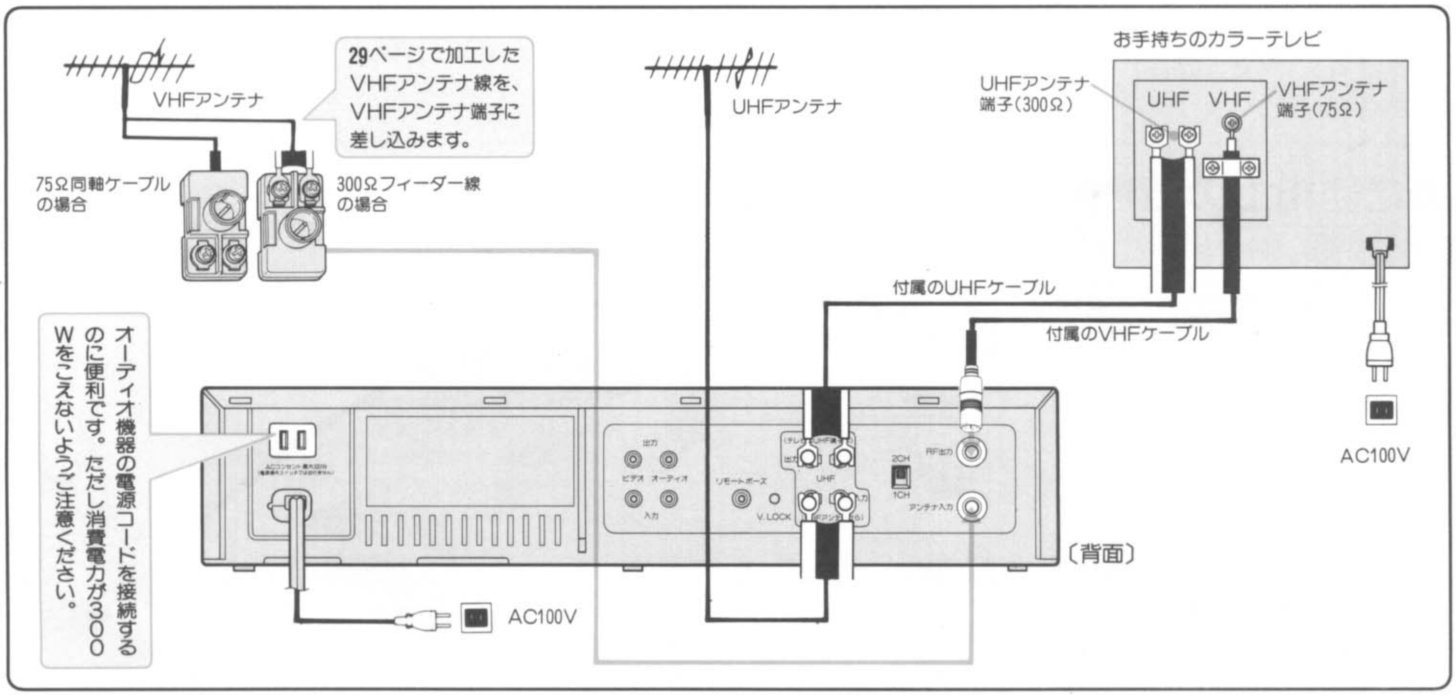
■電波の弱い地域では、ビデオを接続すると画質が悪くなることがあります。

とくに電波の弱い地域では、ビデオを接続すると画質が悪くなることがあります。これは、1本のアンテナをビデオとテレビにわけたためです。
美しい画像が得られない場合は、ブースター(市販の別売り)をご利用ください。
ブースターのご用命はご面倒でも、販売店、もしくは最寄りのビクターサービスセンターにお問い合わせください。

■付属のVHFケーブルとUHFケーブルを用意してください。

付属のVHFケーブル

付属のUHFケーブル

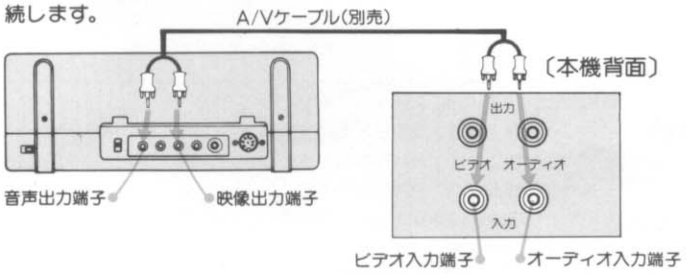


テープのコピー(ダビング)をしたいときは……

●ダビングをすると画質はもとのテープと比べると多少劣ります。
●ダビング時は標準モードを利用されることをおすすめします。

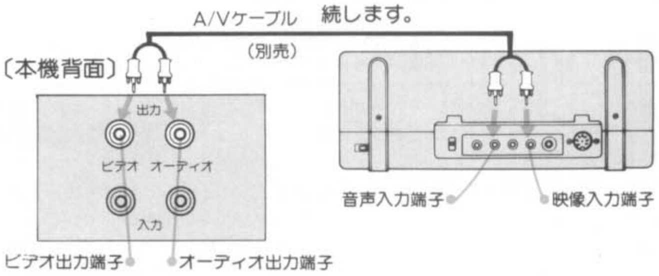
本機を録画側に使用

ビデオ入力、オーディオ入力端子と再生側に使用するビデオの映像(ビデオ)出力、音声(オーディオ)出力端子をA/Vケーブルで接続します。



本機を再生側に使用

ビデオ出力、オーディオ出力端子と録画側に使用するビデオの映像(ビデオ)入力、音声(オーディオ)入力端子をA/Vケーブルで接続します。



使用上のご注意

このビデオカセッターHR-D180は、機械のすみずみまで精巧な技術が駆使されています。正しくお使いいただくために、つぎのことにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。

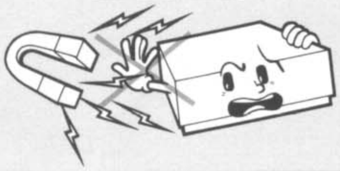
このビデオを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This video tape recorder set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

■設置場所についてのご注意

●湿気やほこりの多いところに置かないでください。

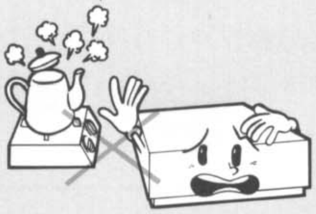
●直射日光が当るところやストーブの近くなど暑いところに置かないでください。

●磁気の発生するところ、振動の激しいところに置かないでください。



●極端に寒いところに置かないでください。

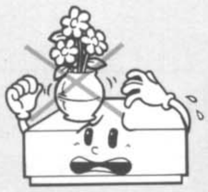
●調理台の近くなど油煙や湯気が当るところに置かないでください。



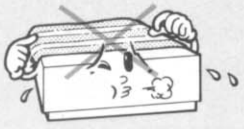
●じゅうたんやふとんなど、やわらかいものや、デコボコしたところの上に直接置いてご使用にならないでください。

■ご使用上のご注意

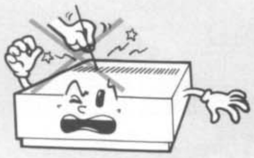
●ビデオの上にものをのせないでください。
●ビデオに水分が流れ込むような場所にはコップなどを置かないでください。



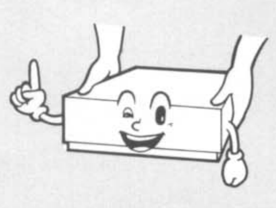
●キャビネットの通風孔をテーブルクロスなどでふさいだり、かぶせたままでお使いにならないでください。



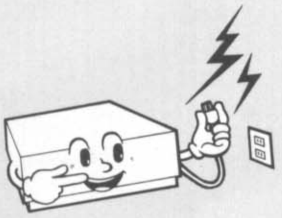
●ビデオの通風孔、カセット挿入口などから内部に金属や燃えやすいもの、手などを入れないようにご注意ください。とくにお子様にはご注意ください。



●ビデオを持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。また輸送のときはカセットをはずし、正しく梱包してください。

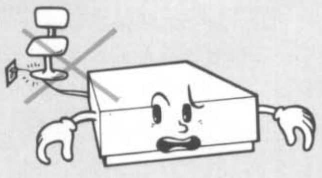


●長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。
また、本機の動作中(再生中・記録中など)に電源コードを抜きますと、トラブルの原因となりますので電源コードを抜くときは必ず停止状態にしてから抜いてください。



●雷が近いときは、早めにビデオの電源コードをコンセントから抜いてください。このとき、アンテナ線には絶対に触れないようご注意ください。

●電源コードに傷をつけないでください。火災、ろう電、感電の原因となります。電源コードが傷んだら、交換をご依頼ください。



■キャビネットについてのご注意

●キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
●化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。
●キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
●キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
●ビデオのキャビネットをはずさないでください。内部に手を触れると危険なうえ、故障の原因となります。
内部の点検・調整は〈お買上げ販売店に〉ご依頼ください。

■アンテナを建てるとき

●妨害電波の影響を避けるため、交通頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお建てください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。なお、アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、〈お買上げ販売店に〉ご相談ください。

●アンテナ線には、同軸ケーブルを使用しますと妨害電波の少ない良好な画像が得られます。

■アンテナの点検・交換

●アンテナは風雨にさらされるため、 定期的に点検 ・ 交換することを心がけてください。美しい画像でご覧になれます。特にばい煙の多い所や潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みます。映りが悪くなったときは、〈お買上げ販売店に〉ご相談ください。

■美しい画面をご覧いただくための点検のおすすめ

ビデオテープレコーダーは、カラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特にビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには使用環境(温度、湿度、ホコリ)等に左右されますが、およそ1,000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめいたします。
くわしくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

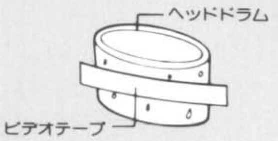
■つゆつきについて

■"つゆつき"とは

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴がつきます。この状態を"つゆつき"(露結または結露)といいます。

■"つゆつき"状態になると

●ビデオの心臓部であるヘッドドラムのまわりに水滴がつくと、テープが貼りついて、せっかくのテープを傷めてしまいます。



■"つゆつき"はこんなときおきます

●ビデオを冷たいところから、急に暖かいところに移動したとき。

●暖房した直後の部屋や、エアコンなどの直接冷風のあたるところ。

●湿気の多いところ。

■本機(HR-D180)には"つゆつき"防止回路が内蔵されています。

"つゆつき"防止回路は、お部屋の温度に応じてヘッドドラムを自動的に温め、"つゆつき"現象を起こしにくくしています。

●この"つゆつき"防止回路は、電源ボタンが「切」で電源プラグがコンセントに差し込んであれば、作動します。

●"つゆつき"防止回路動作中は、少ない消費電力ですが、ご旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

ご注意

■"つゆつき"防止回路は、コンセントに電源プラグを差し込んでも、すぐには働きません。

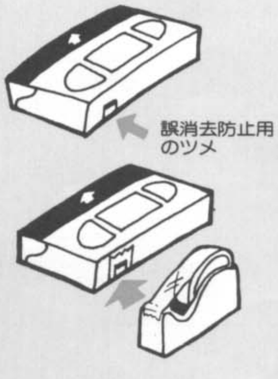
"つゆつき"防止回路は、電源プラグをコンセントに差し込んでも、急激に水滴を蒸発させることができません。寒いところから温かいお部屋に移動されたときなど、ビデオが"つゆつき"になりやすい状態にあるときは、電源プラグをコンセントに差し込んで本機前面の電源ボタンを、「切」にして、数時間ほど待ってご使用ください。

■ビデオカセットについて

●ビデオカセットは VHS タイプをおつかいください。

●録画ずみテープに新しく録画するときは、前の画と音は自動的に消されながら記録されます。

●カセットには、誤消去防止用のツメがついています。消したくないカセットはツメを折っておくと安心です。また、ツメの折られているカセットで録画するときは、ツメの部分にセロハンテープを貼っておつかいください。



●カセットは、うらがえしではつかえません。また、テープを走行させないで、カセットを何回も出し入れしないでください。

●録画しおわったときや、再生したあとは、テープをはじめまで巻戻しておきましょう。

■ビデオカセットの保管上の注意

●直射日光のあたる場所や、ストーブなどのそばは避けてください。

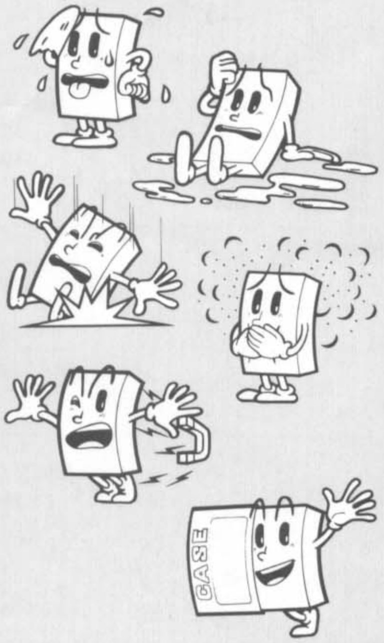
●湿気やほこりの多いところは避けてください。

●落としたり、強い振動、ショックをあたえないでください。

●強い磁気の発生するところ(モーター、トランス、磁石など)での保管は避けてください。

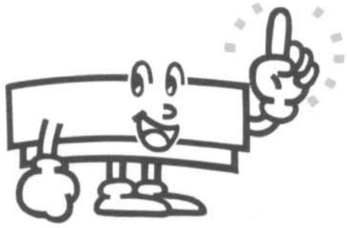
●ムラのある巻き取り状態はテープを傷めます。もう一度巻き直してください。

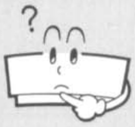
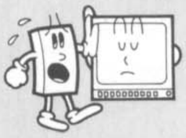
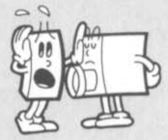
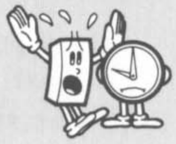
●カセットケースに入れて、立てて保管してください。

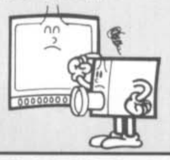


こんなときは

「おかしいな」と思ったら、修理に出す前に
次の点を確かめてください。



	症状	原因	処置	ページ
電源が入らない	ビデオの電源が入らない 	●ビデオの電源コードがはずれていませんか	■電源コードをしっかり差し込みます	・
		●電源ランプが点灯していますか	■電源ボタンを押して電源ランプを点灯させてください	・
		●タイマーボタンが「入」になっていませんか	■「切」にして タイマー 表示を消してください	・
テープが止まる	録画中にテープが巻きとれない	●一時停止／静止ボタンが押されていませんか	■再生ボタンを押してください	7
	巻戻し、早送りの途中でテープが止まる	●カウンターメモリーがはたらいていませんか	■一度カウンターメモリーボタンを「▮切」にし、巻戻し、早送りボタンを押してください	17
	巻戻し、早送りができない	●カセットが早送り、巻戻しを完了していませんか	■カセットを確かめてください	6
録画ができない	録画ができない	●カセットテープは入っていますか	■カセットテープを正しく入れます	5
		●カセットのツメはついていますか	■ツメのないカセットはツメの部分にセロハンテープを貼ってください	
	テレビ番組が録画できない 	●入力切換スイッチが「外部」になっていませんか	■「チューナー」にしてください	8
	カメラ録画ができない 	●ビデオに正しくカメラとカメラアダプターが接続されていますか	■確かめてください	19
		●入力切換スイッチが「チューナー」になっていませんか	■「外部」にしてください	
	タイマー録画ができない 	●現在時刻と録画時間は正しくセットされていますか（本機は24時間デジタル方式です）	■もう一度確かめてください	21
		●タイマーボタンが「切」になっていませんか	■「入」にしてください	

	症　状	原　因	処　置	ページ
再生がおかしい	テープはまわっているがカセットの再生ができない	●テレビのチャンネルはビデオ専用チャンネル(1)または(2)になっていますか	■(1)または(2)チャンネルにします	9
		●テレビ／ビデオボタンが〝テレビ〟になっていませんか	■〝ビデオ〟にします	
	再生画面の一部にノイズが出る	●トラッキング調整つまみは合っていますか	■ゆっくりまわしてきれいになるよう調整してください	9
	テレビはきれいにうつるが、再生するとザラザラした画面になったり、画が消えてしまう	●ヘッドにゴミがたまっているかもしれません	■ビデオのヘッドをクリーニングします ごめんどうでもお買上げの販売店か、お近くのビクターサービス窓口までご相談ください	•
カメラ録画中	テレビから「ピーッ」「ウワーン」という音がでる	●カメラの位置がテレビに近づきすぎていませんか	■テレビからカメラを離してください	19
		●テレビのボリュームは大きくありませんか	■ボリュームをさげてください	
	カメラの画がテレビにうつらない 	●テレビのチャンネルはビデオ専用チャンネル(1)または(2)になっていますか	■(1)または(2)チャンネルにします	19
		●カメラアダプターの電源スイッチは入っていますか	■「入」にしてください	
		●入力切換スイッチが「チューナー」になっていませんか	■「外部」にしてください	
ビデオを使わないとき	テレビで選局して番組を見ることができない	●ビデオ表示が点灯していませんか	■テレビ/ビデオボタンを押してビデオ表示を消してください	•

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんな時は一度電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。あらためて電源プラグをコンセントに差し込み、動作を確認してください。

保証とアフターサービス

■保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

■保証期間について

保証期間は、お買上げ日より、1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。
その他詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

弊社はこのビデオカセッターの補修用性能部品を製造打切り後最低8年保有しています。

■アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

1 まず、**33～34**ページの〝こんなときは〟の項をよくお読みのうえ、再度お調べください。
2 それでも具合の悪いときは、お買上げ販売店に次のことをお知らせください。

- ●ビクタービデオカセッター**HR-D180**
- ●お名前とおところ
- ●電話番号
- ●故障症状(詳しく)

■ビデオが異常のときは！

ビデオから異常な音や、煙がでるとき、また、画がうつらなくなってしまったときなどは、すぐに電源コードをコンセントから抜いてお買上げの販売店、あるいはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

関連機器

■コンパクトビデオカメラ**GZ-S5**

■カメラアダプター**CA-P26**

■ VHS ビデオカセットテープ

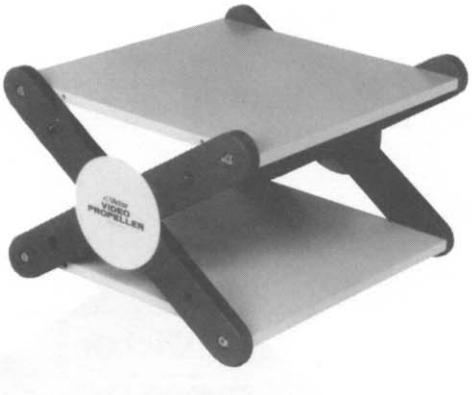
■〈ダイナレック〉
プロフェッショナル
T-120PRO（120分用）
T-60PRO　（60分用）
T-30PRO　（30分用）

■〈ダイナレック〉
スーパーHG
T-160SH（160分用）
T-140SH（140分用）
T-120SH（120分用）
T-90SH　（90分用）
T-60SH　（60分用）
T-30SH　（30分用）
T-20SH　（20分用）

■〈ダイナレック〉
スーパーAV
T-160SA（160分用）
T-120SA（120分用）
T-60SA　（60分用）
T-30SA　（30分用）

※VHSビクタービデオテープは3倍モード付きビデオにも使用できます。
※VHSビクタービデオテープはVHSマークのついた日立製作所・三菱電機・シャープ・赤井電機・松下電器産業・日本ビクター各社（順不同）製造のビデオにご使用になれます。

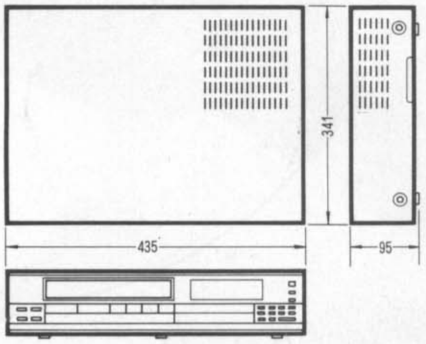
■ビデオブースター**AT-VII**



■ビデオラック**VR-VI**

仕様

■種　　　類	ビデオテープレコーダー
■電　　　源	AC100V 50/60Hz
■A　C　出　力	最大300W(電源スイッチに非連動)
■消　費　電　力	28W(タイマー・予熱時8W)
■信　号　方　式	NTSC日米標準信号
■録　画　方　式	輝度信号FM方式 色信号低域変換直接記録方式 VHS規格
■使用カセット	VHS方式½インチカセットテープ
■テ　ー　プ　速　度	33.4mm/sec(標準モード) 11.1mm/sec(3倍モード)
■録　画　時　間	160分(T-160使用時)標準録画モードにて 最大8時間(T-160使用時)3倍録画モードにて
■巻　戻　し　時　間	約4分(T-120にて)
■早　送　り　時　間	約4分(T-120にて)
■受信チャンネル	VHF 1〜12チャンネル UHF13〜62チャンネル
■ビ　デ　オ　入　力	0.5Vp-p〜2.0Vp-p 75Ω不平衡
■ビ　デ　オ　出　力	1.0Vp-p 75Ω不平衡
■オーディオ入力	ライン−8dBs(50kΩ)
■オーディオ出力	ライン−6dBs(1kΩ)
■R　F　出　力	1チャンネルまたは2チャンネル切換式
■許容動作温度	+5℃〜+40℃
■許容動作湿度	80%以下
■許容保存温度	−20℃〜+60℃
■外　形　寸　法	435(幅)×95(高さ)×341(奥行)mm
■重　　　量	7.0kg
■付　属　品	VHFケーブル×1(1.5m) UHFケーブル×1(1.5m) アンテナ変換器×1 ワイヤレスリモコン×1 乾電池(単四×2)



※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

Victor　JVC
日本ビクター株式会社
ビデオ事業部
所　在　地　〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話(045)453-1111(代表)
お問合せ先　ビクターインフォメーションセンター
〒100 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号　電話 (03)580-2861

PU30424-308(SG)